

平成10年度高知県沿岸域の藻場分布状況調査

漁場環境科 石川 徹・村田 宏・浜田英之

1. 目的

水産試験場では、昭和51～52年度水産庁委託事業で県下藻場の一斉調査を実施したが、藻場についてこのようなまとまった調査はこれ以降20年近く行われていない。そこで、県下全域における藻場の現状を明らかにするため、平成9年度から2カ年で概ね前回同様の手法による調査を実施し、結果の比較を行う。平成9年度は、藻場分布状況の概要を把握することを目的として行い、平成10年度はライン潜水調査により藻場の定量的な判断を行った。

2. 方法等

(1) 調査定点

甲浦、佐喜浜、高岡（紀伊水道海域）
羽根岬、八流、手結、上の加江、志和、
井の岬、田野浦、窪津（土佐湾海域）
松尾、小才角、西泊、沖の島、宿毛
（豊後水道海域）

の計16定点（上の海域分けは昭和52年度調査の海域分けにならう）。

(2) 調査期間

平成10年5月中旬～7月上旬

(3) 調査方法

各調査地点の汀線から沖に200mのラインを設定しその周囲の潜水観察を行った（水深が20mを越す場合は、それ以深は海藻がないものと考え水深20mとなることを終点とした）。潜水観察は、25mピッチ及び大きな海底地形の変化点で行い、そこに見られる種類と被度を記録した。同時に各ラインで上下二点の坪刈り（50cm×50cm）を行った。坪刈りを行う地点は各ラインで最も平均的な植生を示す箇所を選び、採集した海藻は後日同定、及び湿重量の測定を行い乾燥標本作製した。磯焼けの原因とされる

無節石灰藻のサビ亜科等についてはその作業が繁雑を極めることから、被度を押さえるだけにとどめた。なお、海藻の同定には高知大学の野正夫教授に指導を仰いだ。

3. 結果及び考察

(1) 各調査定点ごとの特徴

L-1 甲浦

【陸上地形】甲浦港内の塚崎と呼ばれる付近の岩礁帯に基点を設定した。設定ラインの南側に口のある湾で3方をほぼ囲まれる内湾にあり、港を挟んで河川が流れ、甲浦の市街地が近い。

【海底地形】基点から30m地点までが岩盤・巨礫（最深部3m）で、30m地点付近から170m地点までの範囲が砂泥底（最深部4.7m）、170m地点以遠は砂泥底に巨礫（最深部4.6m）が混じるようになっておりこの間はほぼ平坦であった。

【植生】基点から30m地点までの範囲及び170m地点以遠の砂泥底をのぞく部分にヨレモクモドキ・マメタワラ・無節石灰藻が分布していた。また、30～170m地点までの範囲の砂泥底にはアマモが高い密度で分布していた。

L-2 佐喜浜

【陸上地形】直線的な海岸線の岩礁帯にある小規模な洗岩に基点を設定した。付近に尾崎川・尾崎の集落がある。

【海底地形】基点から100m地点まで岩盤・転石を主体としたもので小刻みな凹凸を繰り返しながら緩やかな傾斜で下り（最深部8.1m）、100m地点以遠は砂泥底となりなだらかな傾斜で終点まで続いていた。

【植生】基点から25m地点付近までの範囲で、ヒラネジモク・テングサ科の海藻が分布し、50～70m地点の範囲にシマオオギ、75～100m地点の範囲にハ

イミル・マクサ等が分布していた。全体的には、有節・無節石灰藻が多く見られた。基点より100m地点以遠の砂泥底に海藻は見られなかった。

L-3 高岡

【陸上地形】高岡漁港のすぐ北側の洗岩に基点を設定した。周囲は直線的な海岸線の岩礁帯で付近に河川はなく、高岡の集落が近い（1km以内）。

【海底地形】全体的に巨礫・大礫・転石等を中心としたもので、終点（最深部12.3m）までなだらかに続いていた。

【植生】全体的にマクサ・無節石灰藻が多く見られた。特にマクサは密度が高く、県内有数のテングサ場である。基点より110mの地点からシマオオギが混じるように分布していた。

L-4 羽根岬

【陸上地形】羽根岬漁港外側にある岬突端付近の洗岩に基点を設定した。岬を挟んで西側は岩礁帯、東側は砂浜となっており、やや離れて河川があり坂本の集落が近い。

【海底地形】基点から140m地点までの範囲は大きな凹凸のある岩盤（最深部8m）を主体としたものであり、140m地点から180m地点までの範囲は転石（最深部10m）を主体としたものであった。180m地点以遠は砂泥底となり緩やかな傾斜で終点まで続いた。

【植生】基点から80m地点までの範囲の岩盤の突出部にクロメ・ヒラネジモク・トゲモクが見られ、特に、基点より30mまでの水深1m前後の範囲では、クロメの密度が高かった。110m地点から180m地点までの範囲ではシマオオギ・マクサが分布していた。全体的には、有節・無節石灰藻が多かった。

L-5 八流

【陸上地形】周囲を砂浜に挟まれた御殿ノ鼻付近の洗岩に基点を設定した。付近に赤野川が流れ、赤野・八流の集落が近い。

【海底地形】基点から115m地点までは大きな凹凸

のある岩盤（最深部11m）を主体としたものであった。115m地点から終点（最深部11.7m）まではほぼ平坦な砂泥底となっていた。

【植生】基点から20m地点までの範囲にはトゲモク・ネジモク・オバクサ・カジメが分布していた。20m地点から115m地点までの範囲にはカジメ・有節・無節石灰藻が多く分布していた。115m地点以遠の砂泥底には海藻は見られなかった。

L-6 手結

【陸上地形】周囲を砂浜に挟まれた手結岬のほぼ突端に基点を設定した。やや離れて河川があり、手結・住吉の集落も近く、また大河川の物部川河口も比較的近い（約7km）。

【海底地形】基点から終点まで、大きな凹凸のある岩盤（最深部8m）を主体としたものであった。

【植生】基点から30m地点までの範囲は無節石灰藻が密生しており、他の海藻は全く見られなかった。30m地点から終点までの範囲には全体的にカジメが認められたほかトゲモク・ネジモク・ヨレモクモドキ・有節・無節石灰藻が混じるように分布していた。特に、130m地点以遠はカジメが多く分布していた。

L-7 上ノ加江

【陸上地形】加江崎の南側斜面沿いにある洗岩に基点を設定した。周囲はほぼ岩礁帯で尾根を隔てて反対側斜面には上ノ加江港があり、漁港側に河川や集落がある。

【海底地形】全体を通して、緩やかな凹凸のある転石（最深部18m）を主体としたもので、30m地点付近、100m地点付近さらに180m地点付近に岩盤の突出部があった。

【植生】基点から30m地点まではマクサ・テングサ科・有節石灰藻が分布していた。30m地点から150m地点までの範囲ではフタエオオギ・シマオオギ・イワノカワ科が分布していた。130m地点以遠では有節石灰藻が分布しており、終点付近では再びフタエオオギ・シマオオギ・キントキが認められたが全体的には無節石灰藻が多く見られた。

L-8 志和

【陸上地形】周囲を岩礁帯に挟まれた冠岬の北側斜面沿いにある洗岩に基点を設定した。付近に河川はなく、大鶴津の集落が近く、沖合には定置網がある。

【海底地形】基点から10m地点までは転石（最深部2m）を中心としたものでほぼ平坦であり、10m地点から50m地点までの範囲は岩盤底（最深部6.2m）であった。50m地点から100m地点までの範囲は大礫・転石（最深部8.5m）を主体としたもので、100m地点以遠は巨礫底で急な傾斜で落ち込み、150m地点では調査限度の水深20mを越えた。

【植生】基点から10m地点までにマクサ・テングサ科・シマオオギ・イワノカワ科等が分布していた。20m地点から130m地点までの範囲にフタエオオギが分布していた。全体的には有節・無節石灰藻が多く見られた。

L-9 井の岬

【陸上地形】周囲を岩礁帯で挟まれた井の岬のほぼ突端に基点を設定した。やや離れて河川及び灘・伊田の集落がある。

【海底地形】基点から90m地点までの範囲は岩盤と転石を中心としたもので（最深部6m）小さな凹凸を繰り返し、90m地点以遠は転石・巨礫を中心としたもので（最深部8m）緩やかな傾斜で終点まで続いていた。

【植生】基点から20m地点付近までの範囲にはヒラネジモク・トゲモク・マクサ・有節石灰藻が分布していた。30m地点付近から80m地点までの範囲にはトゲモク・フタエオオギ・イワノカワ科が分布していた。80m地点以遠はフタエオオギが分布していた。全体的に見ると無節石灰藻が多く見られた。

L-10 田野浦

【陸上地形】田野浦漁港の外側にある洗岩に基点を設定した。漁港を挟んで南側は砂浜、北側は岩礁帯となり、河川はやや離れて北側を流れている。田野浦の集落も近く、また大河川の四万十川の河口も比較的近い（約7km）。

【海底地形】基点から数mで水深3mまで急激に下がり、その後は100m地点付近まで上部の平らになった台形の凹凸を繰り返している。この間の底質は岩盤を主体としたもので（最深部5.3m）、100m地点以遠は砂泥底となっておりほぼ平坦であった。

【植生】基点から数mの急な落ち込みの間ではヨレモクモドキ・マクサ・テングサ科・有節石灰藻等が分布していた。100m地点ではヘラヤハズ・有節石灰藻が分布しており、全体を通しては、クロメと無節石灰藻が多く見られ、特にクロメの密度が高かった。県内有数のアラメ場である。

L-11 窪津

【陸上地形】周囲を岩礁帯で挟まれた窪津崎のほぼ突端付近の洗岩に基点を設定した。基点の北側には窪津漁港があり、付近に河川及び窪津の集落がある。

【海底地形】基点から10m地点までの範囲で急激に4mまで下がり10m地点以遠は小さな凹凸を繰り返しながら緩やかに終点まで続き、底質は全体を通して岩盤を主体としたもの（最深部11.8m）であった。

【植生】基点から10m地点までの急な落ち込みでミゾオゴノリ・マクサ・ユカリが分布していた。全体を通してはフタエオオギ・アミジグサ科・有節・無節石灰藻が多く見られた。

L-12 松尾

【陸上地形】周囲を岩礁帯に挟まれたスボノ口鼻の西側の洗岩に基点を設定した。またこの一帯はリアス式海岸様であり、周囲に河川はなく、松尾の集落が近い。

【海底地形】基点から10m地点までの範囲は岩盤底（最深部10m）で急激に落ち込み、10m地点から25m地点付近までの範囲は巨礫底（最深部12.6m）で平坦であり、25m地点から80m地点までの範囲は岩盤底（最深部8.4m）で平坦であった。80m地点からはほぼ垂直に10mほど下がり、ここからは転石を主体とした底質でなだらかな傾斜が続いていたが、水深22m以深となった120m地点で調査を終了した。

【植生】基点から10m地点までの急な落ち込みにタ

マナシモクの密生が見られ、10m地点から30m地点までの範囲並びに80m地点付近から100m地点付近の転石・巨礫を中心とした範囲でシマオオギ・タマイタダギが分布していた。全体を通してみるとフタエオオギ・無節石灰藻が多く見られた。

L-13小才角

【陸上地形】湾奥部が砂浜となった二つの入り江に挟まれた岬付近の洗岩に基点を設定した。東側には小才角漁港があり、付近に河川及び小才角の集落がある。

【海底地形】全体的に大きな凹凸を繰り返しながら緩やかな傾斜で終点まで続き、岩盤底を主体としたもの（最深部10.1m）だった。

【植生】基点付近の短い急斜面でフタエオオギ・シマオオギ・タマナシモク・有節石灰藻が分布していた。20m地点から50m地点までの平坦な岩の上部ではトゲモク・タマナシモク・有節石灰藻が分布していた。中でもタマナシモクの密度が高かった。50m地点から140m地点までの範囲ではタマナシモクが分布していた。120m地点以遠はフタエオオギ・シマオオギ・タマイタダギ・イワノカワ科が分布していた。全体的には無節石灰藻が比較的少ない密度で見られた。

L-14西泊

【陸上地形】周囲を岩礁帯で挟まれた弁天島・岡大島の間地点に当たる海岸付近の洗岩に基点を設定した。付近に河川はなく、檜ノ浦・西泊の集落が近い。

【海底地形】基点から数mまでの範囲の岩盤底（最深部4m）に短い急斜面を形成し、10m地点から90m地点までの範囲は巨礫底（最深部9m）を中心とした緩やかな傾斜が続き、90m地点から120m地点までは砂泥底（最深部9.9m）ではほぼ平坦であった。120m地点以遠は岩盤底を中心とし、大きな凹凸を持ちながら緩やかに傾斜し終点付近では水深11.1mとなっていた。

【植生】基点から数mまでの短い急斜面にヘライワヅタ・ネザシミル・マクサ・オバクサ・有節石灰藻

が分布していた。その他の箇所では砂泥底をのぞき無節石灰藻しか確認できなかった。

L-15沖の島

【陸上地形】沖の島は足摺岬の西方にある離島であり、東側にある久保浦からさらに1kmほど東に離れた正面に三ツ箸を見るゴロタ石の浜に基点を設定した。ゴロタ石の浜の両側は岩礁・転石帯で付近に河川・集落はない。

【海底地形】基点から終点まで小さな凹凸を持ちながら緩やかな傾斜で下り、転石・巨礫底（最深部7.2m）を中心としたものだった。

【植生】基点付近の傾斜にテングサ科・スリコギヅタ・マユハキモ属・有節石灰藻が分布していた。全体的にはフタエオオギ・無節石灰藻が多く見られ、ハイミル・カギケノリ・有節石灰藻が散在していた。

L-16宿毛（大藤島付近）

【陸上地形】開放的な湾である宿毛湾の湾口に近い大藤島の南西斜面沿いの洗岩に基点を設定した。付近に河川は見られないが、島の対岸には藻津・宇須々木等の集落があり、またハマチの養殖場も近い。

【海底地形】基点から30m地点までの範囲は岩盤底（最深部14m）で小さな凹凸を持つ急斜面であり、30m地点から70m地点までは、巨礫・大礫・砂泥底（最深部22.4m）を中心とし起伏のない急斜面であった。70m地点以遠は海藻がないと判断されたため調査を終了した。

【植生】基点から数m地点までの範囲にオバクサ・有節石灰藻が分布していた。50m地点付近にタマミルが分布していた。全体的には無節石灰藻が多く見られた。

(2) 全体的な特徴

坪刈り調査による藻類の全出現種を表1に示した。海産種子植物1種、緑藻類14種、褐藻類21種、紅藻類67種であった。潜水目視調査による藻類の全出現種を表2に示した。海産種子植物2種、緑藻類19種、褐藻類25種、紅藻類60種であった。

高知県の沿岸を通して全体的に多い種類は、無節石灰藻・有節石灰藻・アミグサ科（シマオオギ、ヘラヤハズ等）トゲモク・テングサ科・キジノオ・タマイタダキ・ユカリなどであった。

各ラインごとの潜水目視調査における平均目視被度〔目視被度の総計（石灰藻は除く）／藻類の観察された目視区分数〕を図1に示した。マクサが広範囲に高密度で分布した高岡やタマナシモクが広範囲に高密度で分布した小才角の数値が高い。

各ラインごとの潜水目視調査における出現種類数を図2に示した。ミル・イワズタ等の緑藻類及び小型紅藻の多かった窪津や、ミル・マユハキモ等の緑藻類及び小型紅藻類の多かった高岡でその数値が高い。

各ラインごとの坪刈り調査で得られた坪刈り重量平均を図3に示した。大型褐藻のカジメ・クロメの多く見られた羽根岬・手結・田野浦でその数値が高い。

各数値とも、示す傾向が異なり藻場の価値判断の複雑さをうかがわせた。

(3) 海域別の特徴

高知県沿岸を前回の調査の海域分けにならい、室戸岬以東を紀伊水道海域、室戸岬以西から足摺岬以東を土佐湾海域、足摺岬以西を豊後水道海域と分け、海域別の特徴を述べる。

紀伊水道海域の特徴は、テングサ類などが比較的多く見られることや強い波浪を受けるためか、カジメ等の大型褐藻はあまり見られないことがあげられる。また、甲浦等の内湾域には局所的にホンダワラ類や、アマモの多い箇所が見られた。

土佐湾海域の特徴はカジメ類が県内の他の海域に比べ多かった事があげられる。しかし、羽根岬・八流・手結・田野浦の限られた箇所にしか生育していない。

豊後水道海域では、他の海域では見られないタマナシモクの多い箇所が見られた。また、他の箇所に比べ緑藻類の出現率（表3）が高く、この海域が他に比べて暖海性の色合いが濃いことを示唆するも

のと考えられる。

(4) 有用とされる藻類と分布水深及び基盤の関係
有用とされる藻類が特に密度が高く（ライン上で被度が20%を越えるもの）分布していた水深、基盤について表4に示した。

アラメ場を構成する種の中ではカジメとクロメがよく出現し、カジメは水深1.4m～8.2m以深、クロメは水深-0.6m～5.3mに分布しており、基盤に関しては両者ともほぼ岩盤上に分布していた。

ガラモ場を構成する種の中ではヨレモクモドキ・マメタワラ・ヒラネジモク・トゲモク・タマナシモクがよく出現し、ヨレモクモドキは水深-0.4m～2.1mの岩盤及び巨礫上に多く見られ、マメタワラは水深2.1m～4.6mの岩盤及び巨礫上に多く見られ、ヒラネジモクは水深0.7m～4.5mの転石以上の大きさの基盤上に多く見られ、トゲモクは水深1.0m～7.5mの巨礫以上の大きさの基盤上に多く見られ、タマナシモクは水深1.0m～10.0mの岩盤上に多く見られた。

テングサ場を構成する種の中ではマクサ、オバクサがよく出現した。マクサは水深1.4m～12.3m以深の大礫以上の大きさの基盤上に多く見られ、オバクサは水深1.6m～6.5mの大礫以上の大きさの基盤上に多く見られた。

アマモ場を構成する種はアマモが多く出現し、水深3.6m～4.6mの砂泥底に多く見られた。

(5) 有用とされる藻類の多く分布する箇所の地形的特徴

有用とされる藻類が多く分布している箇所の地形的特徴を表5に示した。

表中の藻場規模とはそれぞれの潜水目視区分（水平距離で25m）ごとの被度を加算したものである。藻場規模数が100ポイントを超えるような大きい規模の藻場が存在する箇所の特徴を各藻場別に述べる。

アラメ場は、土佐湾海域の外洋に面した大河川の河口近く（7km以内）のものが4定点中2定点含まれ、比較的小規模な河川もその付近（1km前後）に

存在している。さらに、付近に砂浜があり、海底の底質に砂を持つ定点も多いことから河川の影響を受ける場所に多く分布していることがうかがえる。また、周囲を直線的な砂浜に挟まれた岬の突端部分に多いことから、潮通しのよい所に多く分布していると考えられる。また付近（1 km前後）には集落が存在しており、岩盤を主体とした底質の箇所によく見られるといった特徴があげられる。

ガラモ場については、種によっての分布域の違いが大きいので、種ごとに記す。

ヨレモクモドキは、紀伊水道海域・土佐湾海域の内湾・外洋どちらにも分布しており岩盤を中心とした底質の箇所によく見られた。マメタワラは、紀伊水道海域の内湾域の巨礫を中心とする底質の箇所によく分布していた。ヒラネジモクは土佐湾海域の外洋に面した岬の突端部で岩盤を中心とした底質の箇所によく見られた。トゲモクは、前出のアラメ場の藻類と同じような分布傾向を示していたが分布水深はヒラネジモクの方が浅い傾向が見られた。

タマナシモクは、豊後水道海域の外洋に面した岬の突端部で岩盤を中心とする底質の箇所によく見られた。

テングサ場については、紀伊水道海域の外洋に面した、大礫・巨礫・転石を中心とした底質の箇所に

多く見られた。

アマモ場については、紀伊水道海域の内湾に面した砂泥を中心とする箇所によく見られた。

（6）過去の調査との比較

前回調査との明確な比較ができる資料は、坪刈り調査のみであったために、ここでは坪刈り調査結果についての比較を行った。

昭和51、52年度の坪刈り調査結果との比較を表6に示した。

出現種における大きな違いは、甲浦でホンダワラ類が増えアマモが確認されたことや志和でアントクメが確認されなかったことなどが上げられる。

また有用とされる藻類の重量の比較を表7に示した。羽根岬でクロメが増加していること、手結の上部でカジメが増加していること、宿毛湾の上部でテングサ属が増加していること以外は、総じて減少している。各ラインの坪刈り点の総湿重量の比較においても、増加している坪刈り点は6箇所、減少している坪刈り点は6箇所、同程度の坪刈り点は9箇所となり、明らかに海藻の無くなった箇所をラインから除外したことを考えると減少傾向にあると考えられる。

平成10年度高知県沿岸域の藻場分布状況調査

表1 坪刈り出現種一覧表

種別	出現種名	紀伊水道	土佐湾	豊後水道
緑藻類	ジズモsp		○	○
緑藻類	ミドリグ		○	○
緑藻類	バロニアsp		○	○
緑藻類	コケイワツタ		○	○
緑藻類	スズカケツタ		○	○
緑藻類	スリコキスタ		○	○
緑藻類	タカツキスタ		○	○
緑藻類	ヘライワスタ		○	○
緑藻類	マユハキモ		○	○
緑藻類	コブシミル		○	○
緑藻類	タマミル		○	○
緑藻類	ネザシミル	○	○	○
緑藻類	ハイミル	○	○	○
緑藻類	ミル	○	○	○
14種		3	3	13
海藻種子植物	アマモ	○	○	○
1種		1	0	0
褐藻類	アミシクサ	○	○	○
褐藻類	イトアミジ		○	○
褐藻類	コナウミウチワ		○	○
褐藻類	サナダグサ		○	○
褐藻類	シマオオギ	○	○	○
褐藻類	シワヤハス	○	○	○
褐藻類	ハイオオギ		○	○
褐藻類	フクリンアミジ		○	○
褐藻類	ハラヤハス	○	○	○
褐藻類	ヤハスグサ属	○	○	○
褐藻類	カジメ		○	○
褐藻類	クロメ		○	○
褐藻類	オオバノコギリモク		○	○
褐藻類	オブクロモク		○	○
褐藻類	タマナシモク		○	○
褐藻類	トゲモク		○	○
褐藻類	ヒラネジモク	○	○	○
褐藻類	マメダワラ	○	○	○
褐藻類	ヤツマタモク	○	○	○
褐藻類	ヨレモクモドキ	○	○	○
褐藻類	ホンダワラ属	○	○	○
21種		10	18	11
紅藻類	ケイギス	○	○	○
紅藻類	ハネイギス		○	○
紅藻類	フタツガサネ		○	○
紅藻類	アヤニシキ		○	○
紅藻類	ウスバノリ属	○	○	○
紅藻類	スジウスバノリ	○	○	○
紅藻類	アカソノ		○	○
紅藻類	クロソノ		○	○
紅藻類	ジャバラノリ		○	○
紅藻類	ソノsp	○	○	○
紅藻類	ソノノハナ	○	○	○
紅藻類	ハネソノ		○	○
紅藻類	マクリ		○	○
紅藻類	ガラガラ		○	○
紅藻類	フサノリ芽		○	○
紅藻類	モサガラガラ		○	○
紅藻類	ガラガラ属		○	○
紅藻類	ヨゴレコナハダ		○	○
紅藻類	タマシダキ	○	○	○
紅藻類	エツキイワノカワ		○	○
紅藻類	キントキ	○	○	○
紅藻類	トサカマツ	○	○	○
紅藻類	ヒトツマツ		○	○
紅藻類	ヒラキントキ		○	○
紅藻類	フイリグサ	○	○	○
紅藻類	ムカデノリ属		○	○
紅藻類	ウスカワカニノテ	○	○	○
紅藻類	カニノテ	○	○	○
紅藻類	ヒメモサツキ	○	○	○
紅藻類	ヒリヒバ	○	○	○
紅藻類	フサカニノテ	○	○	○
紅藻類	ヘリトリカニノテ	○	○	○
紅藻類	ホンバノミノハナ	○	○	○
紅藻類	クロトサカモドキ	○	○	○
紅藻類	ホンバノミノハナ	○	○	○
紅藻類	ミアナグサ	○	○	○
紅藻類	タチイバラ		○	○
紅藻類	カギイバラノリ		○	○
紅藻類	イバラノリ属	○	○	○
紅藻類	オキツノリ	○	○	○
紅藻類	ハリガネ		○	○
紅藻類	カイメンソウ		○	○
紅藻類	カミナリ	○	○	○
紅藻類	ナミイワタケ		○	○
紅藻類	ミノゴノリ	○	○	○
紅藻類	インタンツウ		○	○
紅藻類	キシノオ		○	○
紅藻類	イカノアシ		○	○
紅藻類	カイノリ		○	○
紅藻類	スギノリ		○	○
紅藻類	ツノマタ		○	○
紅藻類	ツノマタ属	○	○	○
紅藻類	ベニスナゴ		○	○
紅藻類	カタメンキリンサイ	○	○	○
紅藻類	トゲキリンサイ		○	○
紅藻類	トサカノリ	○	○	○
紅藻類	ヒメユカリ	○	○	○
紅藻類	ユカリ	○	○	○
紅藻類	フシツナギ属		○	○
紅藻類	ワツナギソウ		○	○
紅藻類	オオブサ	○	○	○
紅藻類	オニクサ		○	○
紅藻類	オバクサ	○	○	○
紅藻類	キヌクサ		○	○
紅藻類	マクサ	○	○	○
紅藻類	テングサ属		○	○
67種		27	47	35
合計		41	68	60

表2 潜水目視出現種一覧表

種別	出現種名	紀伊水道	土佐湾	豊後水道
緑藻類	アオサ属	○		○
緑藻類	アナアオサ		○	○
緑藻類	ウキオリソウ科		○	○
緑藻類	ウキオリソウ属		○	○
緑藻類	カタシオグサ		○	○
緑藻類	キッコウグサ		○	○
緑藻類	コケイワツタ		○	○
緑藻類	コブシミル		○	○
緑藻類	シブグサ属	○	○	○
緑藻類	タカツキツタ	○	○	○
緑藻類	タマミル		○	○
緑藻類	ネザシミル	○	○	○
緑藻類	ハイミル	○	○	○
緑藻類	ハネモ属	○	○	○
緑藻類	フサイワツタ		○	○
緑藻類	ヘライワツタ		○	○
緑藻類	マユハキモ属	○	○	○
緑藻類	ミル	○	○	○
緑藻類	ヤブレグサ		○	○
緑藻類出現19種		5	11	14
海藻種子植物	アマモ	○	○	○
海藻種子植物	ウミヒモ	○	○	○
海藻種子出現2種		2		
褐藻類	アミシクサ	○	○	○
褐藻類	アミシクサ科	○	○	○
褐藻類	アントクメ		○	○
褐藻類	イソモク		○	○
褐藻類	ウミウチワ	○	○	○
褐藻類	ウミウチワ属	○	○	○
褐藻類	ウミトラノオ	○	○	○
褐藻類	カジメ		○	○
褐藻類	クロメ	○	○	○
褐藻類	シマオオギ	○	○	○
褐藻類	シワヤハス	○	○	○
褐藻類	タマナシモク	○	○	○
褐藻類	トゲモク	○	○	○
褐藻類	トサカモク	○	○	○
褐藻類	ネジモク		○	○
褐藻類	ノコギリモク		○	○
褐藻類	ヒジキ	○	○	○
褐藻類	ヒラネジモク	○	○	○
褐藻類	フタロノリ	○	○	○
褐藻類	フタエオオギ	○	○	○
褐藻類	ヘラヤハス	○	○	○
褐藻類	ホンダワラ科	○	○	○
褐藻類	マメダワラ	○	○	○
褐藻類	ヤツマタモク	○	○	○
褐藻類	ヨレモクモドキ	○	○	○
褐藻類出現25種		16	18	9
紅藻類	アヤニシキ		○	○
紅藻類	イギス科		○	○
紅藻類	イバラノリ	○	○	○
紅藻類	イバラノリ科	○	○	○
紅藻類	イバラノリ属	○	○	○
紅藻類	イワノカワ科	○	○	○
紅藻類	ウスカワカニノテ	○	○	○
紅藻類	オキツノロ	○	○	○
紅藻類	オニクサ	○	○	○
紅藻類	オバクサ	○	○	○
紅藻類	カイノリ	○	○	○
紅藻類	カイメンソウ		○	○
紅藻類	カギイバラノリ		○	○
紅藻類	カギケノリ		○	○
紅藻類	カサノリ属	○	○	○
紅藻類	カタメンキリンサイ	○	○	○
紅藻類	カニノテ	○	○	○
紅藻類	カニノテ属	○	○	○
紅藻類	ガラガラ	○	○	○
紅藻類	キントキ	○	○	○
紅藻類	キントキ属	○	○	○
紅藻類	コナハダ属	○	○	○
紅藻類	サイミ	○	○	○
紅藻類	サビキ科	○	○	○
紅藻類	サンゴモ	○	○	○
紅藻類	サンゴモ科	○	○	○
紅藻類	スギノリ	○	○	○
紅藻類	ソノ属	○	○	○
紅藻類	ソノノハナ	○	○	○
紅藻類	ソデガラミ	○	○	○
紅藻類	タマイタダキ	○	○	○
紅藻類	チャボキントキ	○	○	○
紅藻類	ツツサグミ	○	○	○
紅藻類	ツノマタ属	○	○	○
紅藻類	テングサ科	○	○	○
紅藻類	トサカノリ	○	○	○
紅藻類	トサカモドキ属	○	○	○
紅藻類	ナミノハナ	○	○	○
紅藻類	ハナヤナギ	○	○	○
紅藻類	ハリガネ	○	○	○
紅藻類	ヒビロウド	○	○	○
紅藻類	ヒメモサツキ	○	○	○
紅藻類	ヒラガラガラ	○	○	○
紅藻類	ヒラキントキ	○	○	○
紅藻類	ヒラフサ	○	○	○
紅藻類	ヒラフサノリ	○	○	○
紅藻類	ヒリヒバ	○	○	○
紅藻類	フサノリ	○	○	○
紅藻類	ベニヤナギノリ	○	○	○
紅藻類	ヘリトリカニノテ	○	○	○
紅藻類	ホンバノミノハナ	○	○	○
紅藻類	ホンバノミノハナ	○	○	○
紅藻類	マクサ	○	○	○
紅藻類	マタボウ	○	○	○
紅藻類	ミノゴノリ	○	○	○
紅藻類	ミツデソノ	○	○	○
紅藻類	ユカリ	○	○	○
紅藻類	ラングリア	○	○	○
紅藻類	ワツナギソウ	○	○	○
紅藻類出現60種		36	46	36
合計出現回数		62	75	61

表3 各調査における緑、褐、紅藻の割合(%)

坪刈り調査	紀伊水道	土佐湾	豊後水道
緑藻類/全	7.3	4.4	21.7
海藻種子植物/全	2.4	0.0	0.0
褐藻類/全	24.4	26.5	18.3
紅藻類/全	65.9	69.1	60.0

潜水目視調査	紀伊水道	土佐湾	豊後水道
緑藻類/全	12.9	14.7	23.0
海藻種子植物/全	3.2	0.0	0.0
褐藻類/全	25.8	24.0	14.8
紅藻類/全	58.1	61.3	62.3

表4 有用藻類の多い箇所と深度・基盤の関係

調査種類 アラマ場	海藻種類 カジメ	甲藻	位置派	高間	羽根脚	八潮	手続	上ノ加江	武和	伊ノ船	田野道	窪津	松原	小才角	西泊	沖の島	荒毛	種としての分布域
	クロメ				0.7-1.0 岩盤	1.6-7.5 岩盤	1.4-8.2以深 岩盤・巨礫				up0.6-5.3 岩盤							1.4-8.2以深 岩盤・巨礫 up0.6-5.3 岩盤
ガラモ場	ヨシモクモドキ	up0.4-2.1 岩盤・巨礫																up0.4-2.1 岩盤・巨礫
	ママタワラ	2.1-4.6 岩盤・巨礫																2.1-4.6 岩盤・巨礫
	ヒラネジモク		1.4-4.5 板石以上		0.7-3.9 岩盤					1.0-2.0 岩盤								0.7-4.5 板石以上
	トガモク				3.9-7.5 岩盤					1.0-4.0 巨礫以上								1.0-7.5 巨礫以上
	ネジモク																	巨礫以上
	ノコギリモク																	
	ヤツマタモク																	
	ウミトラノオ																	
	ヒジキ																	
	トサカモク																	
	イソモク																	
	ホンダワラ科																	
テングサ場	タマシモク												1.0-10.0 岩盤	2.0-6.9 岩盤				1.0-10.0 岩盤
	マクサ			2.0-12.3以深 大礫以上	7.5付近 岩盤				1.4付近 板石									1.4-12.3以深 板石・巨礫・大礫
	オバクサ			4.0-6.5 大礫以上		1.6付近 岩盤												1.6-6.5 大礫以上
	オニクサ																	
	オオブサ																	
	テングサ科																	
アマモ場	アマモ	3.6-4.6 砂泥																3.6-4.6 砂泥

岩盤
板石
巨礫
大礫
水深はDL

等身大以上
大人頭大～等身大
大人頭大～大人頭大

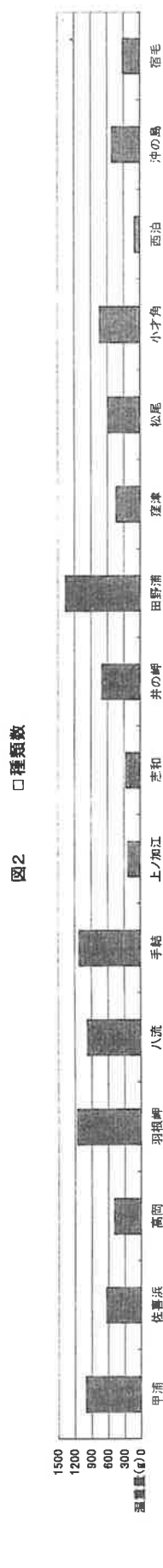
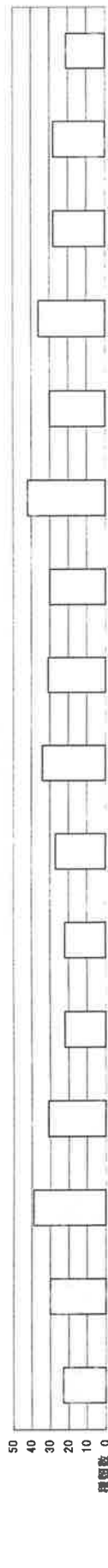


图3 坪刈り重量平均

表5 有用とされる藻類の分布と地理的特徴の關係

[illegible]

表6 坪刈り調査結果の比較

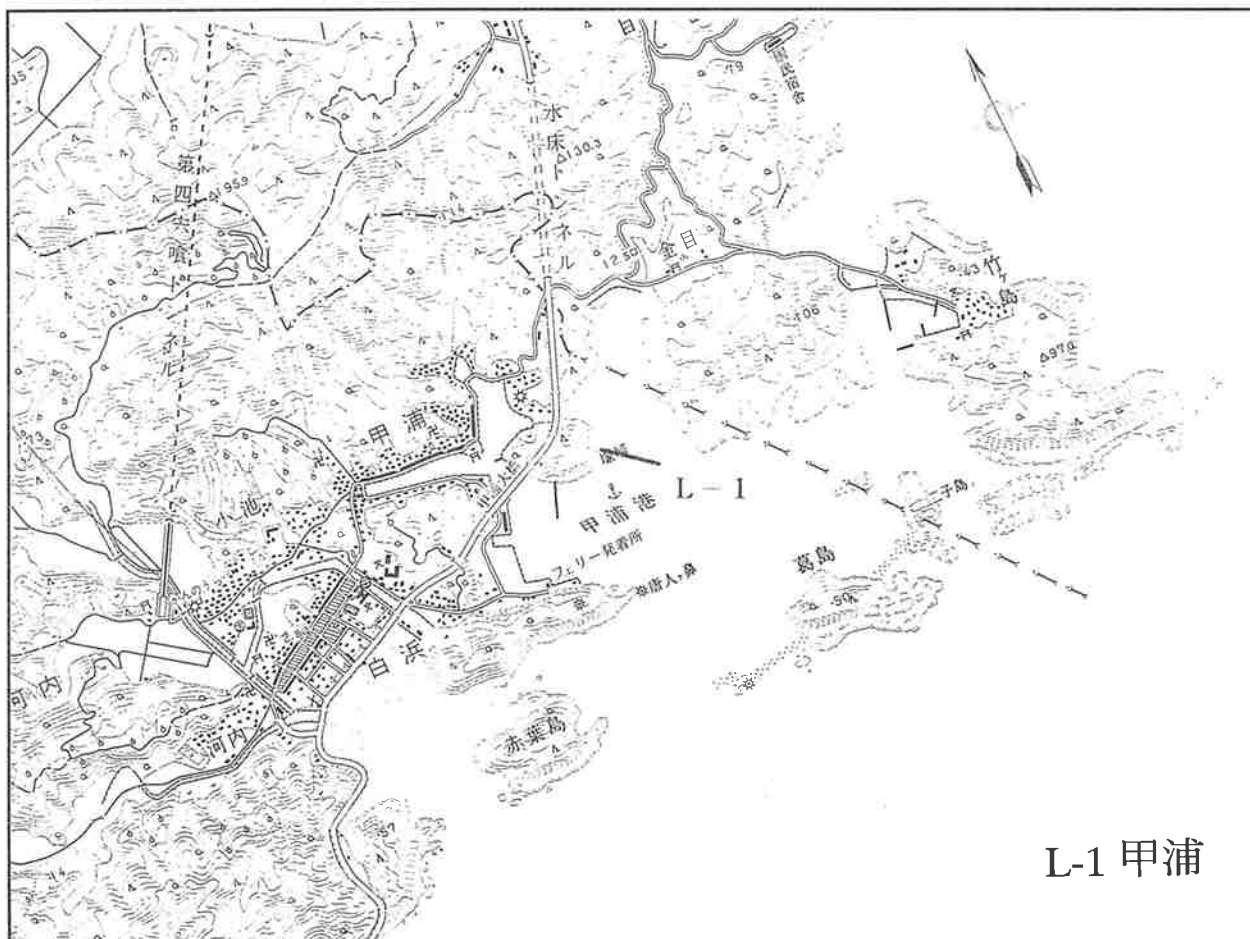
平成10年度										昭和52年度					
定線	定点	沖出し距離	水深	種類数 6月	種類数 6月	主要出現種類	定点	沖出し距離	水深	種類数 6月	種類数 6月	主要出現種類	植生の変化	量的変化	
1 甲浦	上	200	0.5	6	1463.9	ヨレモクモドキ、マメダワラ	上	161	16.0	7	588.0	ビリビバ、オオシコロ、アミジガサ、トグモク、ヘラヤハズ	大型根類が増加している	増	
2 佐喜浜	下		3.5	1	543.4	アモモ	下			4	1439.0	アノトクメ	アノトクメからアモモに優占種が変化した	減	
3 高岡	上	105	2.2	16	985.6	ヒラネジモク、有節サンゴモ、シマオオサ、ネザシミル	上	155	13.0	3	1469.0	ヨレモク、ネジモク、ヘラヤハズ	特に差はない	やや減	
4 羽根崎	下	200	7.5	9	289.8	ハミミル、マクサ、ヤハズグサ、ネザシミル	下			3	252.0	ネジモク、カニノテ、シマオオサ、トグモク	特に差はない	同程度	
5 八流	上	185	2.5	12	547.3	マクサ、オオバサ、ヒラネジモク、ヘリトリカニノテ	上	290	15.0	7	412.0	ネジモク、ヘラヤハズ、マクサ	特に差はない	やや増	
6 手結	下		11.0	20	434.3	ヤハズグサ、マクサ、ミル、キントキ	下			4	312.0	マクサ	特に差はない	やや増	
7 上ノ加江	上	200	1.0	13	2013.6	クロメ、ヘリトリカニノテ、オバクサ、ヒラネジモク	上	165	12.0	2	345.0	マクサ、有節サンゴモ、トグモク、ネジモク、シマオオサ	クロメ増加	増	
8 志和	下		7.5	12	306.0	マクサ、トグモク、カニノテ	下			2	356.0	マクサ、有節サンゴモ、シウヤハズ	特に差はない	同程度	
9 井ノ崎	上	115	3.5	18	1140.6	カジメ、ヒメモサツキ、ヘリトリカニノテ、トグモク	該当区なし								
10 田野浦	下		7.5	9	815.8	カジメ、カニノテ、オオバサ、ヘリトリカニノテ	該当区なし								
11 篠津	上	200	1.5	14	1100.5	カジメ、トグモク、マクサ、ヘラヤハズ	上	420	17.5	2	1643.0	ネジモク、タマイタダキ、トグモク、ヨレモク、有節サンゴモ	優占種がカジメに変化した	やや減	
12 松尾	下	200	3.8	14	1134.4	ヘリトリカニノテ、カジメ、ヨレモクモドキ、ハイオオサ	下			2	1285.0	カジメ、タマイタダキ、トグモク、有節サンゴモ	特に差はない	やや減	
13 小才角	上	200	2.5	12	281.7	オオバサ、マクサ、イカノアシ	該当区なし								
14 西泊	下		8.0	14	178.6	シマオオサ、ヘリトリカニノテ、ユカリ	該当区なし								
15 沖ノ島	上	150	0.5	13	423.7	マクサ、ハネソノ、ビリビバ	上	120	33.0	5	88.0	シマオオサ、アノトクメ、トサカノリ、有節サンゴモ、ヒラクサ、キントキ	マクサ増加	増	
16 宿毛	下		6.0	5	108.7	シマオオサ、ヘリトリカニノテ、ホリバサミノハナ	下			3	277.0	アノトクメ、有節サンゴモ、シマオオサ、ソノ属、アタエオオサ、キントキ	アノトクメ発見できず	減	
17 坪刈り	上	200	1.5	20	1078.6	ヒラネジモク、トグモク、トサカマツ、ユカリ	上	290	15.0	2	1110.0	トグモク、ネジモク、ナラサメ、ヘラヤハズ	特に差はない	同程度	
18 田野浦	下		4.2	9	326.4	シマオオサ、トグモク、アミジガサ	下			2	955.0	トグモク、シマオオサ	特に差はない	減	
19 篠津	上	105	3.0	19	1288.1	クロメ、オニクサ、ホソバノサカモドキ、ヨレモクモドキ	該当区なし								
20 松尾	下		5.2	19	1451.7	クロメ、ヘリトリカニノテ、ヘラヤハズ、マクサ	該当区なし								
21 小才角	上	200	1.0	18	483.5	ヘリトリカニノテ、ミゾオノリ、カイノリ、ヒトツマツ	上	200	10.0	4	452.0	有節サンゴモ、シウヤハズ、トグモク、タカツキズタ、ソノ属、ナミノハナ、カイノリ	特に差はない	同程度	
22 西泊	下		8.2	11	406.5	シマオオサ、カニノテ、アミジガサ	下			3	245.0	アミジガサ、シウヤハズ、ヘラヤハズ、有節サンゴモ、シマオオサ	特に差はない	増	
23 沖ノ島	上	120	6.5	1	1032.8	タマナシモク	上	167	19.0	2	1720.0	タマナシモク、キジノオ	特に差はない	減	
24 宿毛	下		19.0	18	145.1	カニノテ、シマオオサ、ネジノオ	下			3	132.0	シマオオサ、ソノ属、トサカノリ、タマナシモク、アミジガサ	特に差はない	同程度	
25 坪刈り	上	200	3.5	10	1129.2	タマナシモク、トグモク、ヘリトリカニノテ、シマオオサ	該当区なし								
26 西泊	下		9.5	24	351.8	シマオオサ、ネジノオ、アミジガサ、ミル	該当区なし								
27 沖ノ島	上	200	2.0	16	177.0	ネザシミル、ヘラヤハズ、アソコソ	上	170	8.0	6	473.0	マクサ、タカツキズタ、ヘラヤハズ、ネザシミル、オニクサ、シウヤハズ、イトミル、ミドリガ、有節サンゴモ	特に差はない	同程度	
28 宿毛	下		8.5	8	32.0	アミジガサ、イトアミジ	下			5	111.0	ネザシミル、シウヤハズ、有節サンゴモ、タカツキズタ、タマミル	特に差はない	同程度	
29 坪刈り	上	200	1.5	10	577.2	マコハキモ、シマオオサ、ウスカワカニノテ	上	85	19.0	2	545.0	オニクサ、トグモク、マクサ、タマイタダキ、シマオオサ、アミジガサ	全体的に根類が増加	同程度	
30 宿毛	下		6.5	13	454.7	ヒメモサツキ、スリゴロズタ、カイメンソウ、シマオオサ	下			4	251.0	アミジガサ、タマイタダキ、シマオオサ、シウヤハズ	全体的に根類が増加	増	
31 坪刈り	上	75	1.0	12	243.5	アクリンアミジ、テンガサ、ウスカワカニノテ	上	105	3.7	2	1116.0	ヘラヤハズ、ホソユカリ	根類減少	減	
32 坪刈り	下		2.5	17	379.0	ウスカワカニノテ、イバラノリ、ソノ属、スリゴロズタ	下			3	408.0	マクサ、ネジモク、シウヤハズ、ホソユカリ	イバラノリ増加	同程度	

表7 有用藻類の量的変化

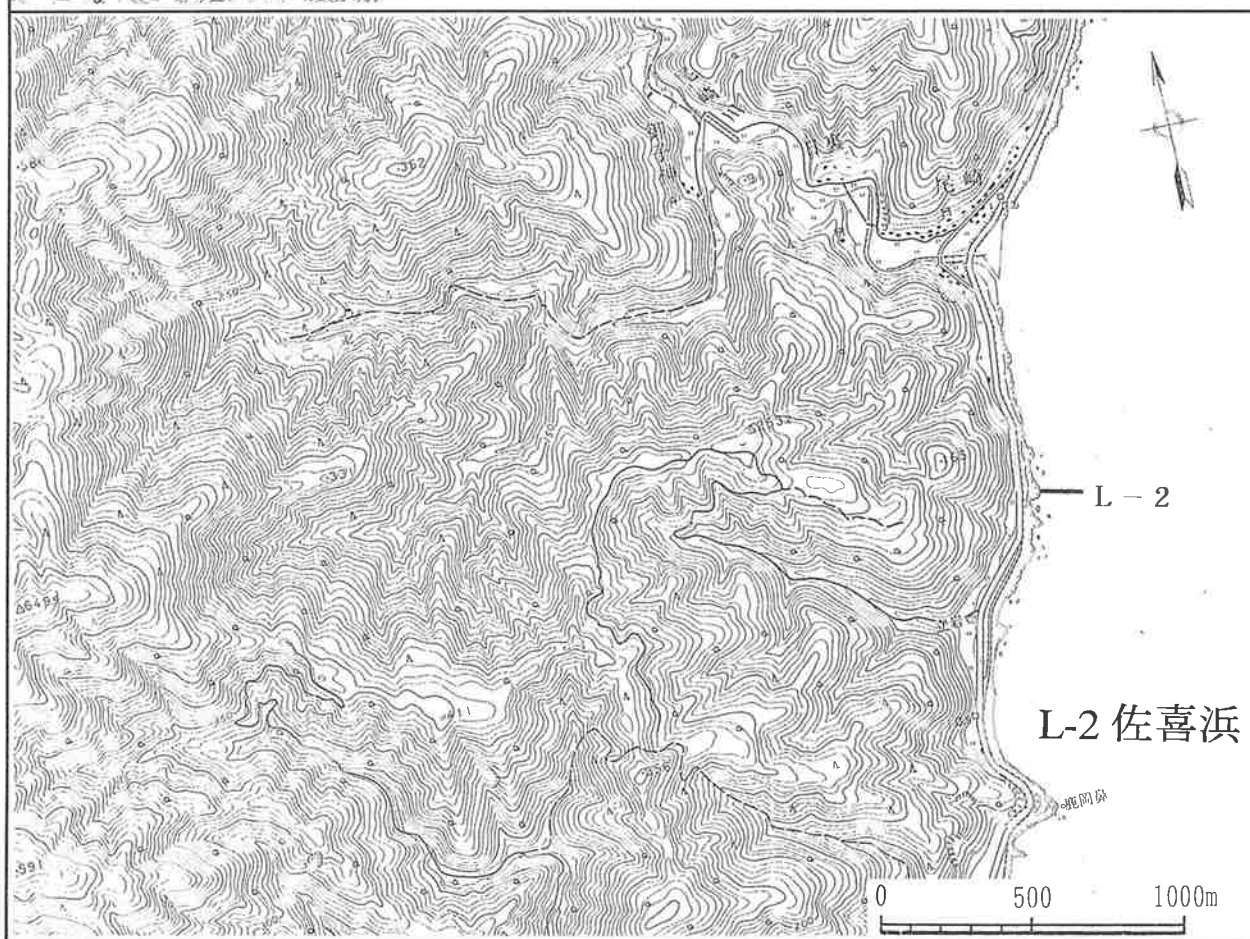
定線	定点	量的に変化のあった有用藻類	S51.6 (g)	H10.6 (g)	重量比較
1 甲浦	上				
	下				
2 佐喜浜	上				
	下				
3 高岡	上				
	下				
4 羽根岬	上	クロメ	0	1782	1782
	下				
5 八流	上				
	下				
6 手結	上	カジメ	0	850	850
		ネジモク	1615	185	-1430
	下	カジメ	1230	338	-892
7 上ノ加江	上	トゲモク	445	0	-445
	下	アントクメ	1520	0	-1520
8 志和	上				
	下				
9 井ノ岬	上	トゲモク、ネジモク	1110	953	-157
	下	トゲモク、ネジモク	940	80	-860
10 田野浦	上				
	下				
11 窪津	上	トゲモク	85	0	-85
	下				
12 松尾	上	タマナシモク	1715	1032	-683
	下				
13 小才角	上				
	下				
14 西泊	上	マクサ	202	3.6	-198.4
	下				
15 沖ノ島	上	トゲモク	85	0	-85
	下	オニクサ	510	0	-510
16 宿毛 (大瀬島付近)	上	テングサ属	0	54	54
	下	マクサ	345	+	-345

付図 1

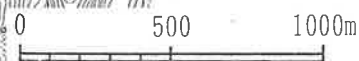
平成10年度
高 知 県 沿 岸 藻 場 調 査
位 置 図

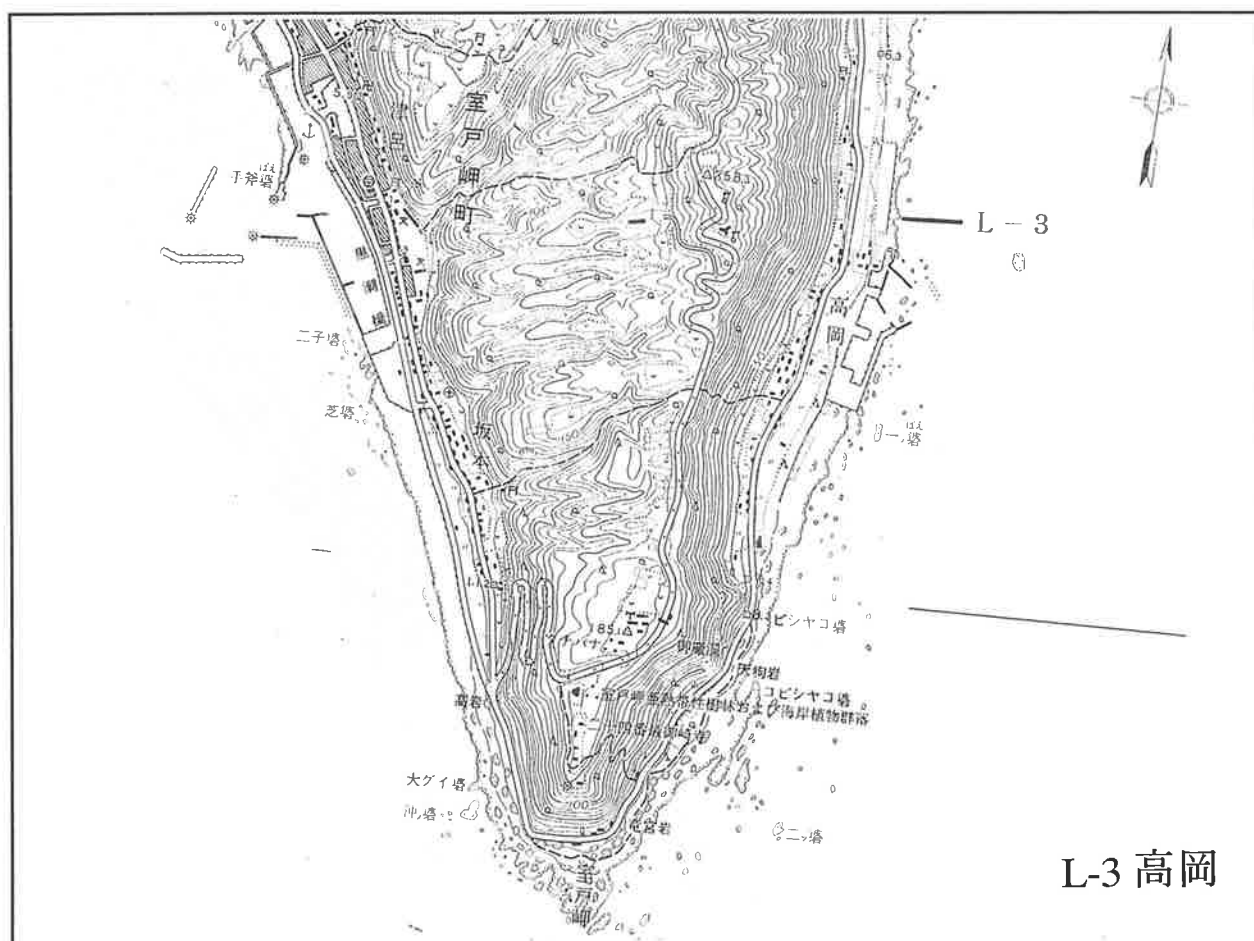


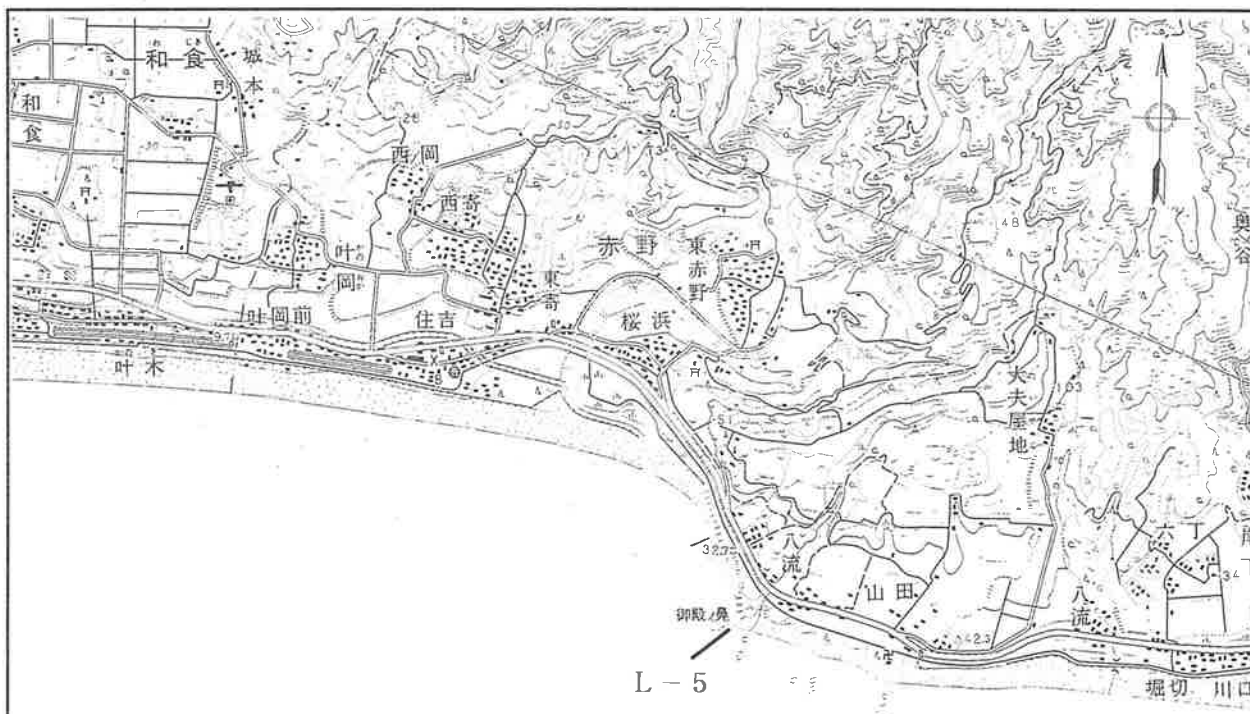
L-1 甲浦



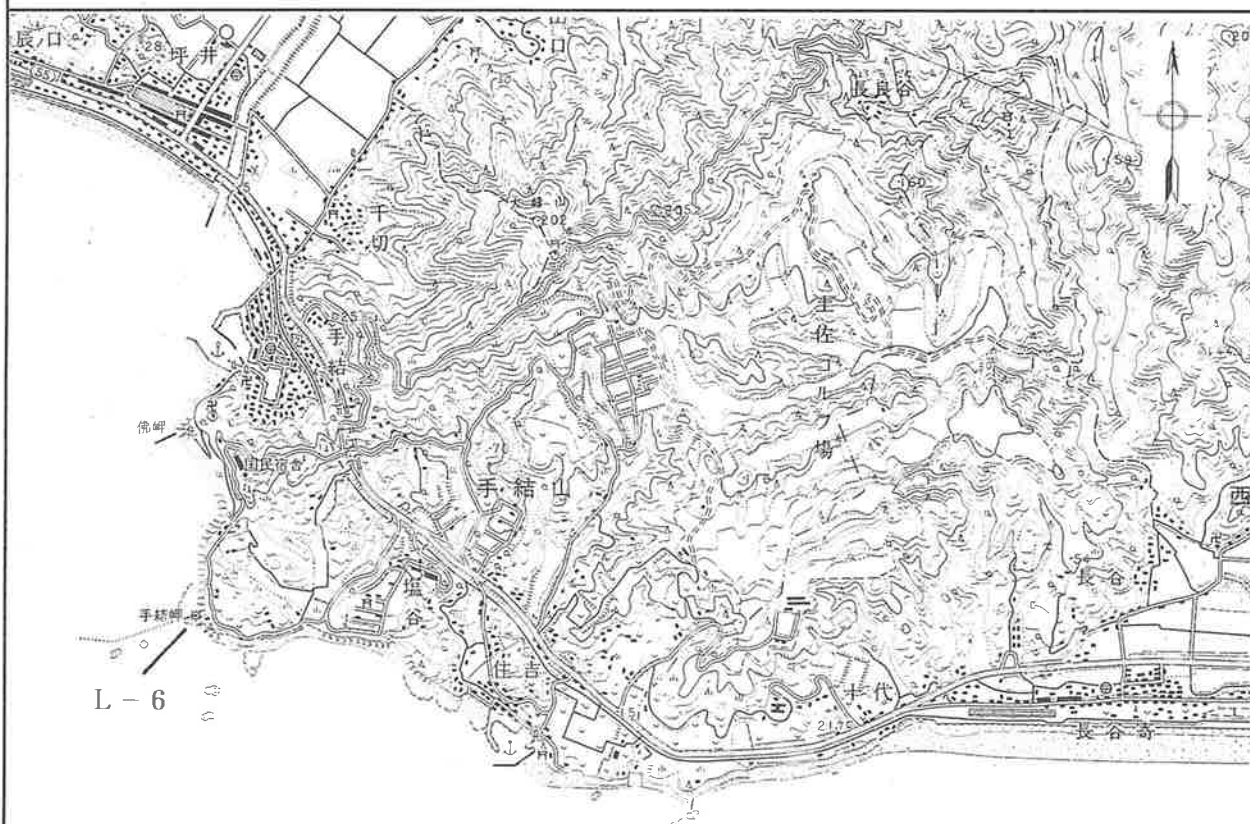
L-2 佐喜浜



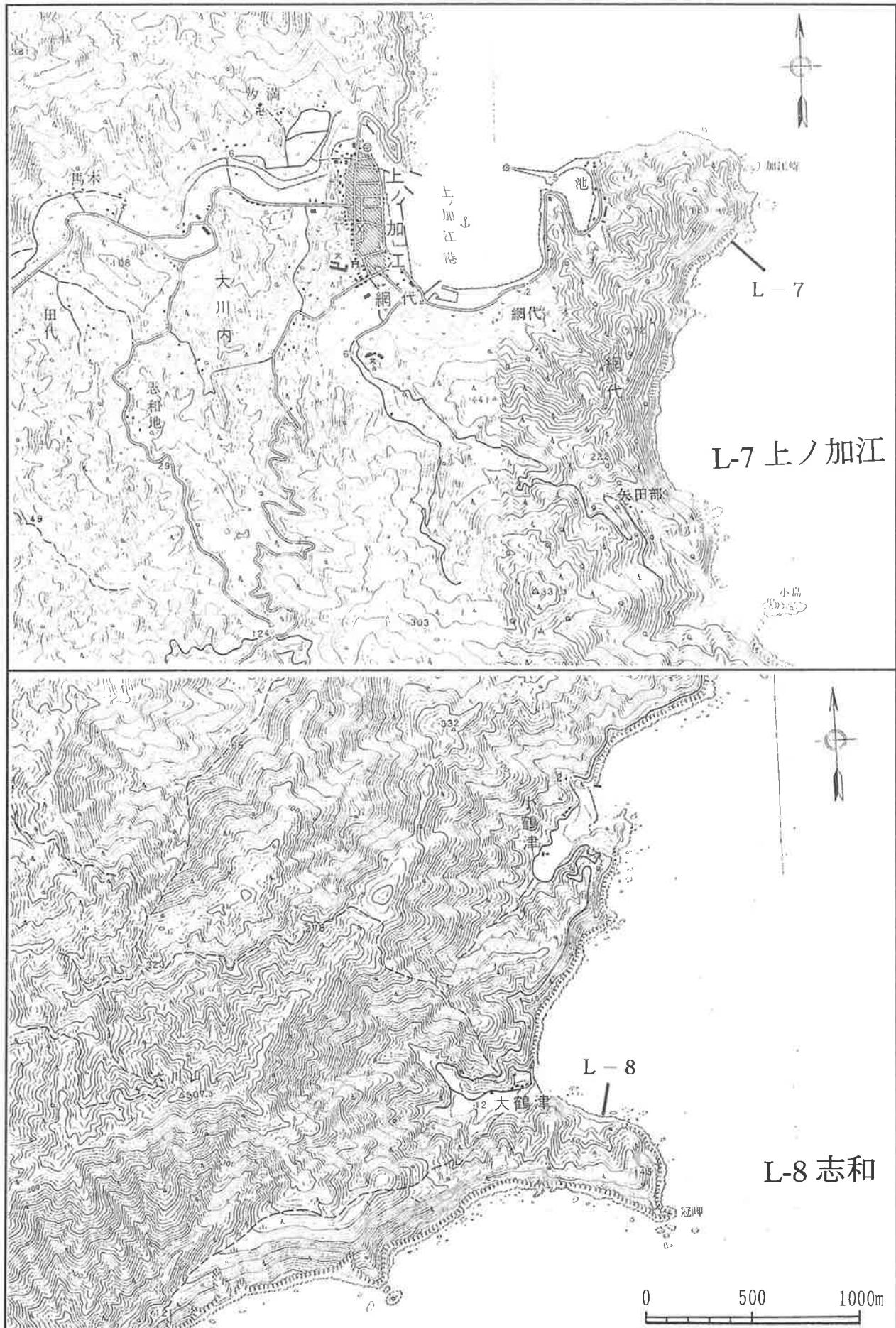




L-5 八流



L-6 手結





L-9

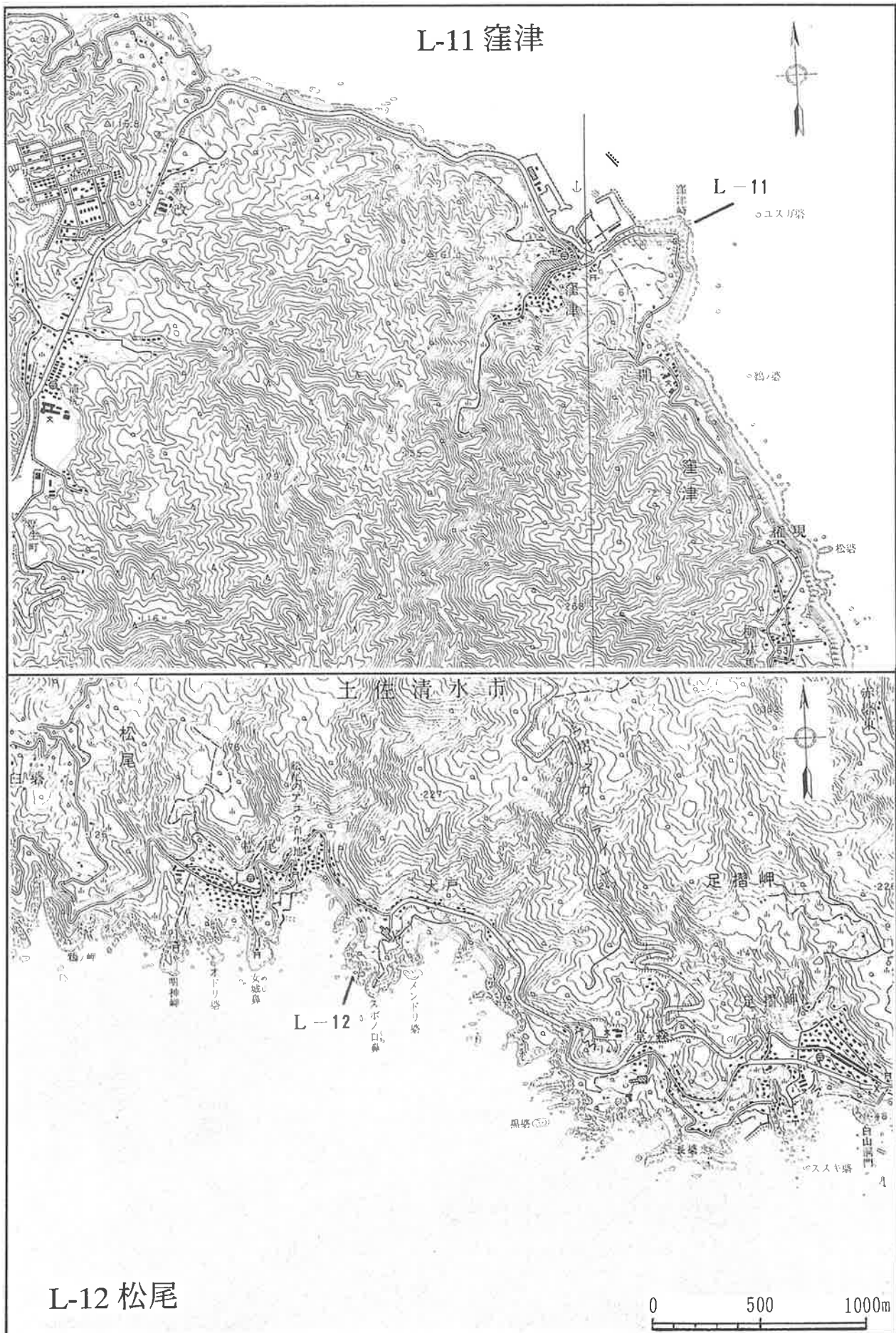
L-9 井の岬

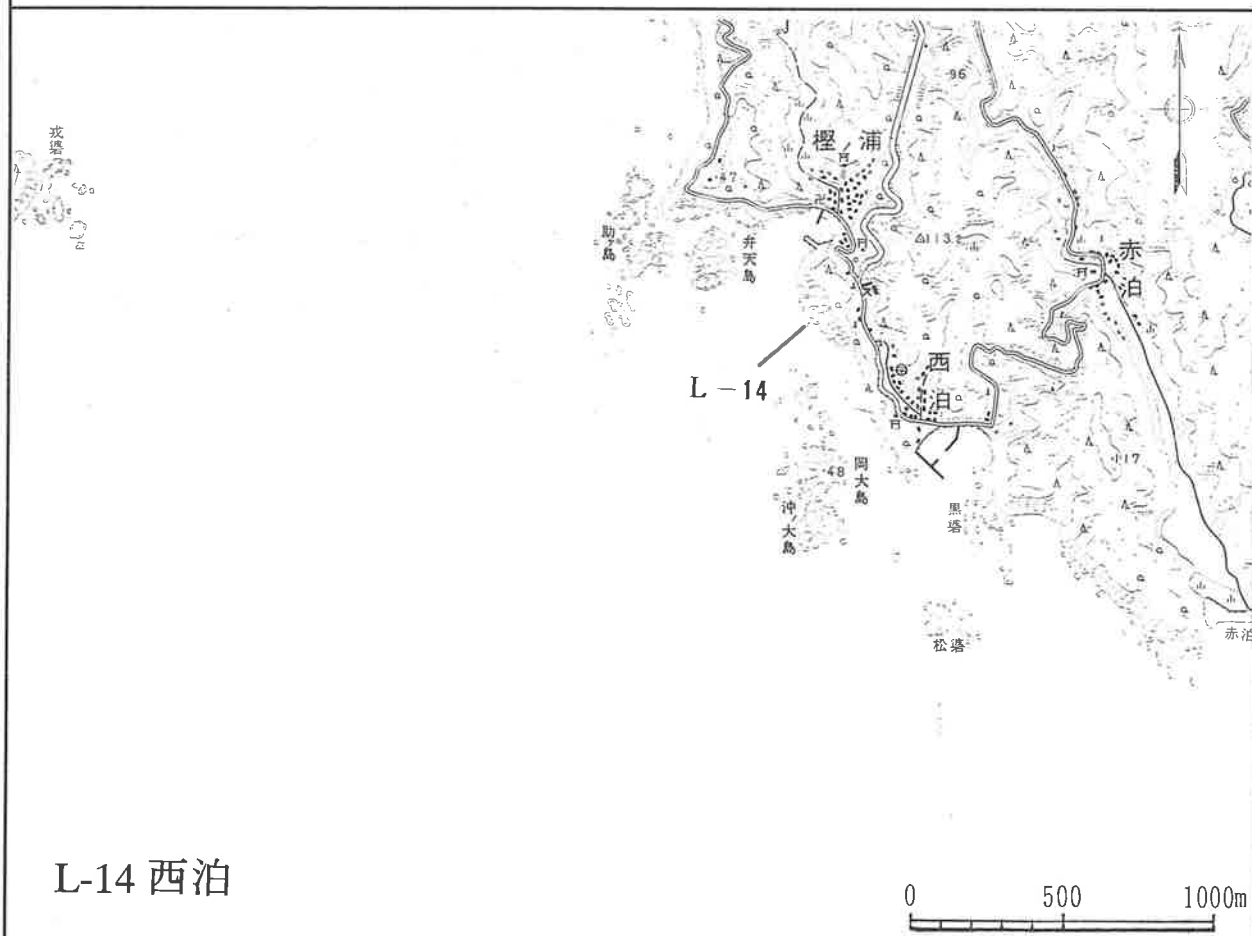


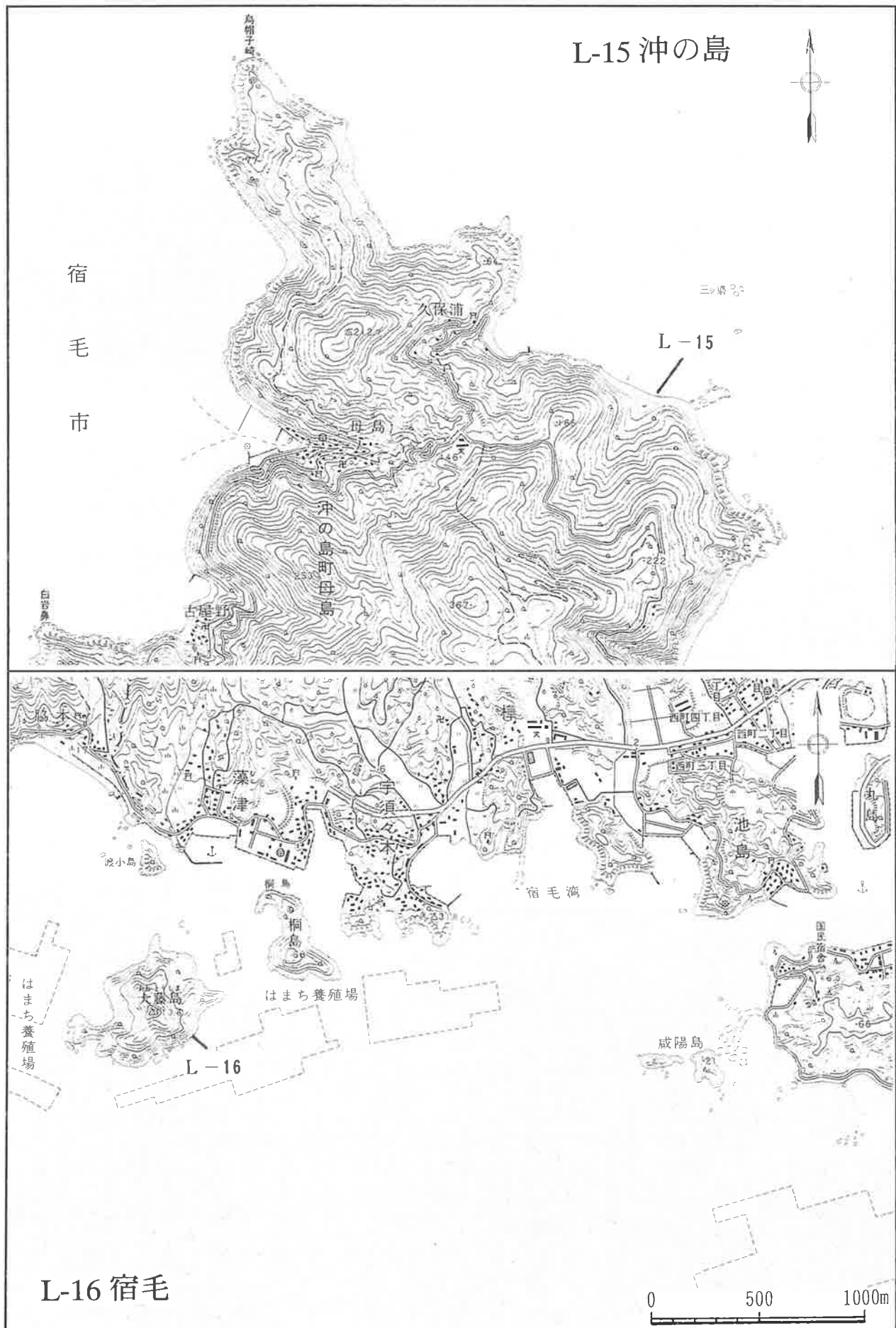
L-10

L-10 田野浦

0 500 1000m







付図 2

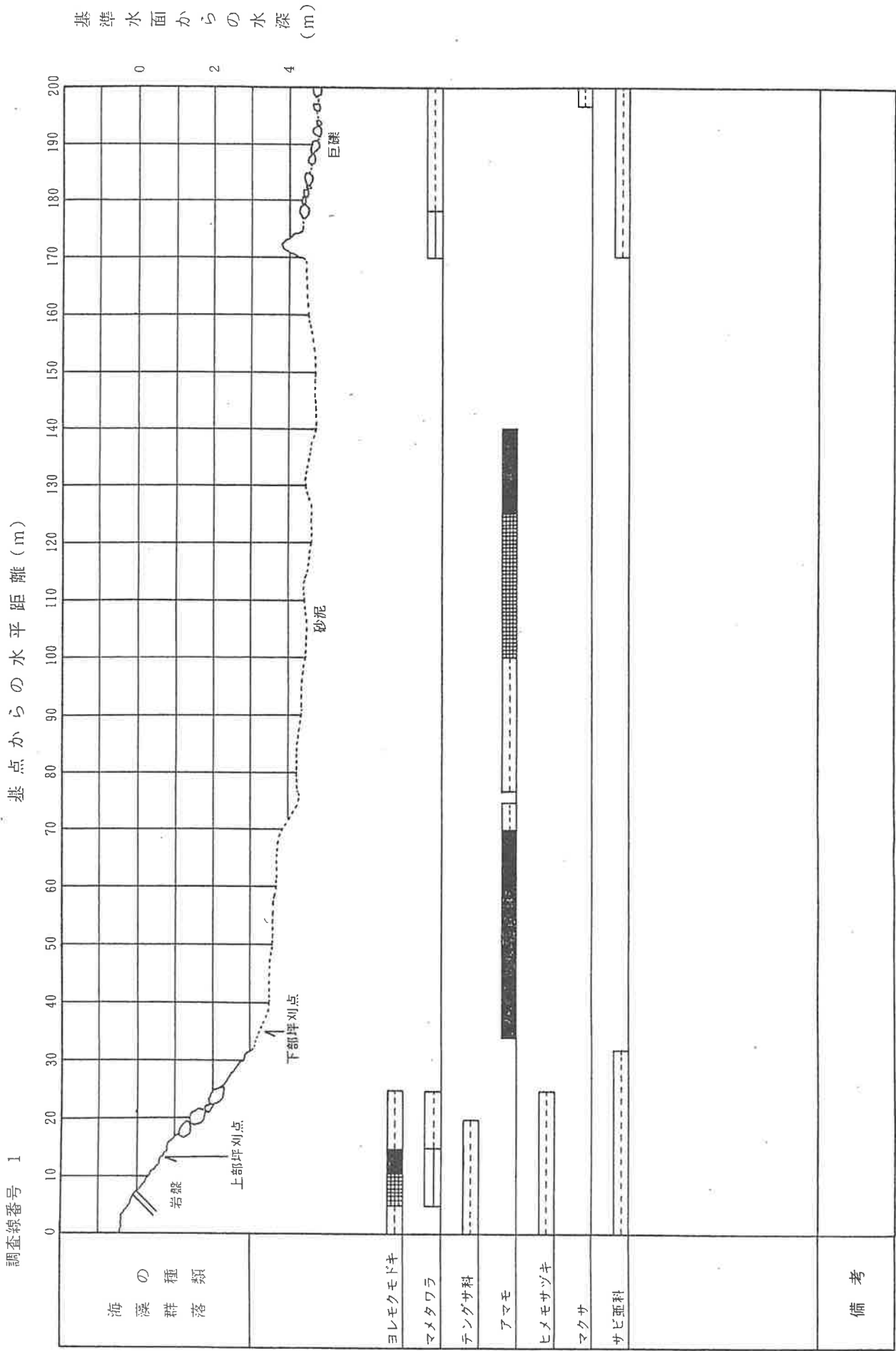
平成10年度

高 知 県 沿 岸 藻 場 調 査

海藻群落垂直断面分布図

海藻群落垂直断面分布図

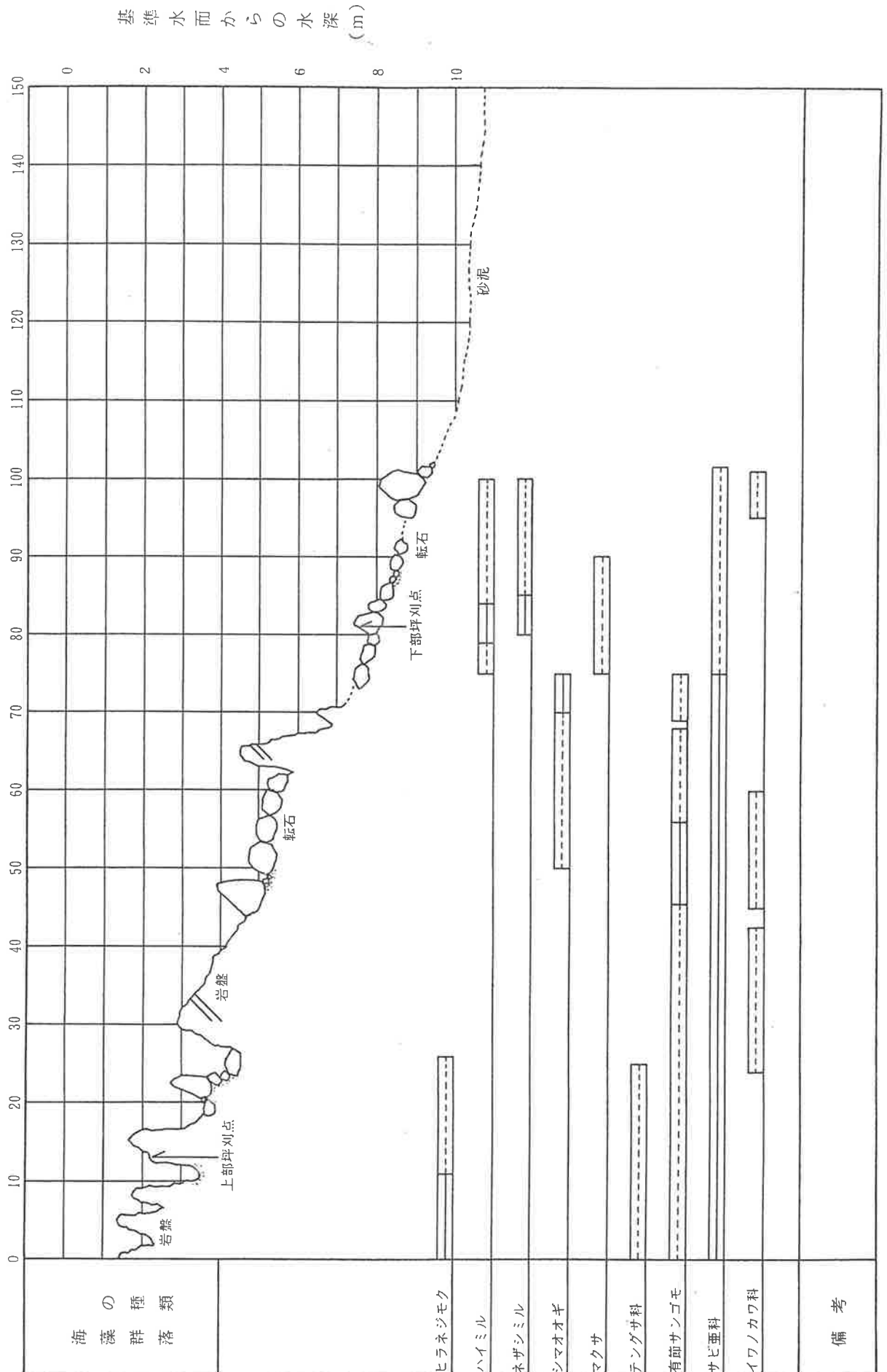
調査線番号 1



海藻群落垂直断面分布図

調査線番号 2

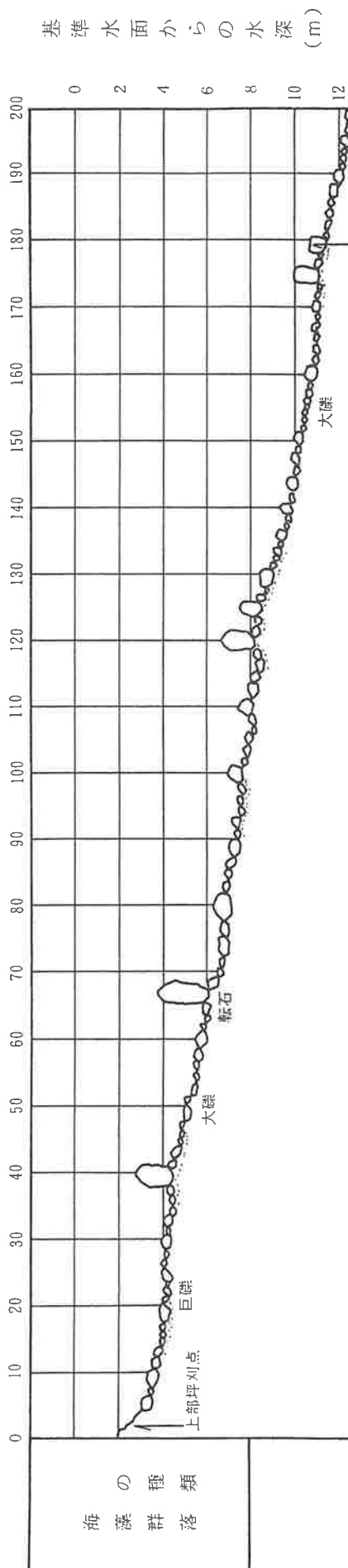
基点からの水平距離 (m)



海藻群落垂直断面分布図

調査線番号 3

基点からの水平距離 (m)



基準水面からの水深 (m)

0 2 4 6 8 10 12

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 180 190 200

上部坪刈点

巨礫

大礫

松石

大礫

下部坪刈点

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

大礫

海藻の種類

ヘリトリカニノテ

オバクサ

マクサ

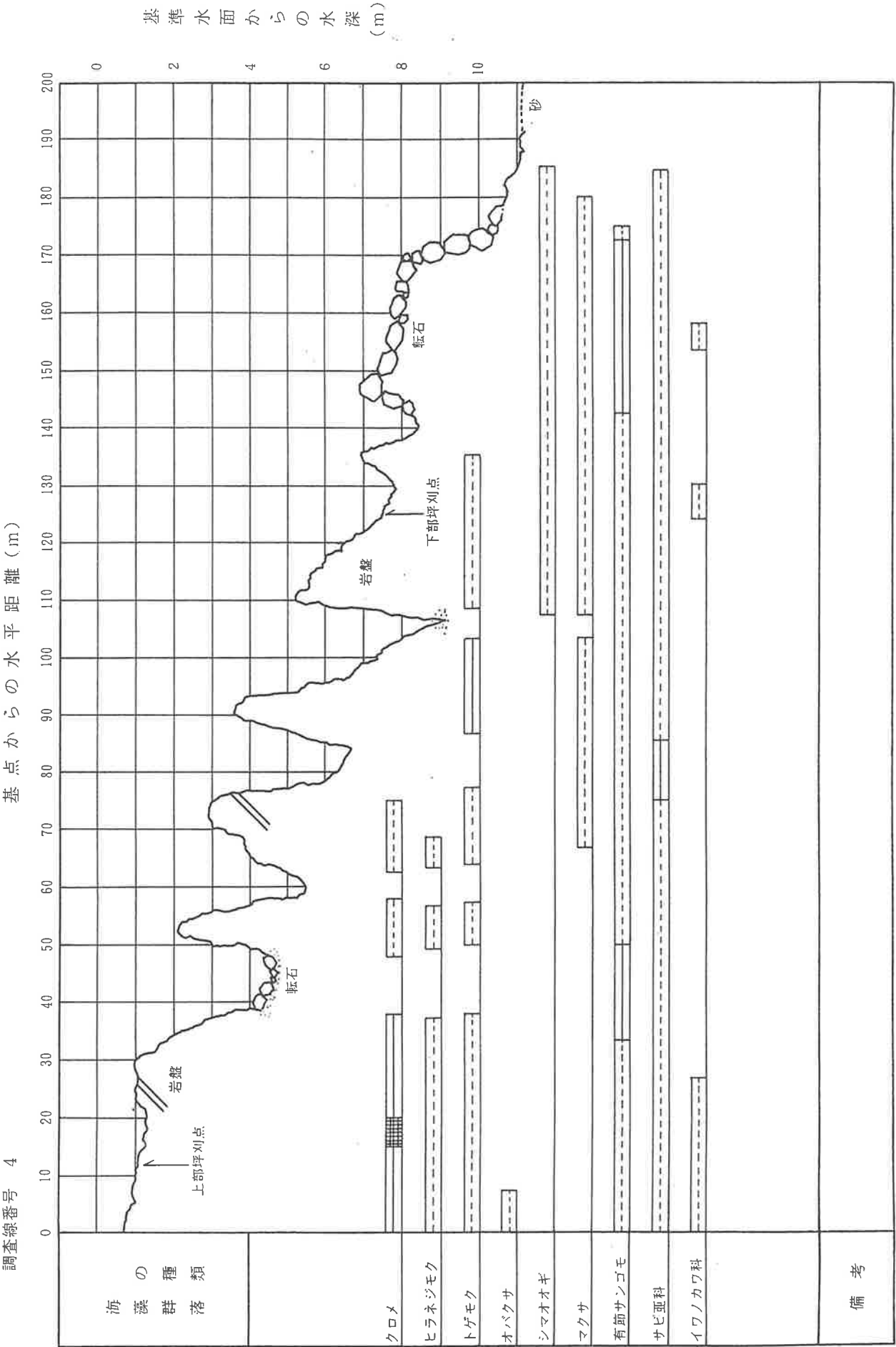
ハイミル

シマオオギ

サビ亜科

海藻群落垂直断面分布図

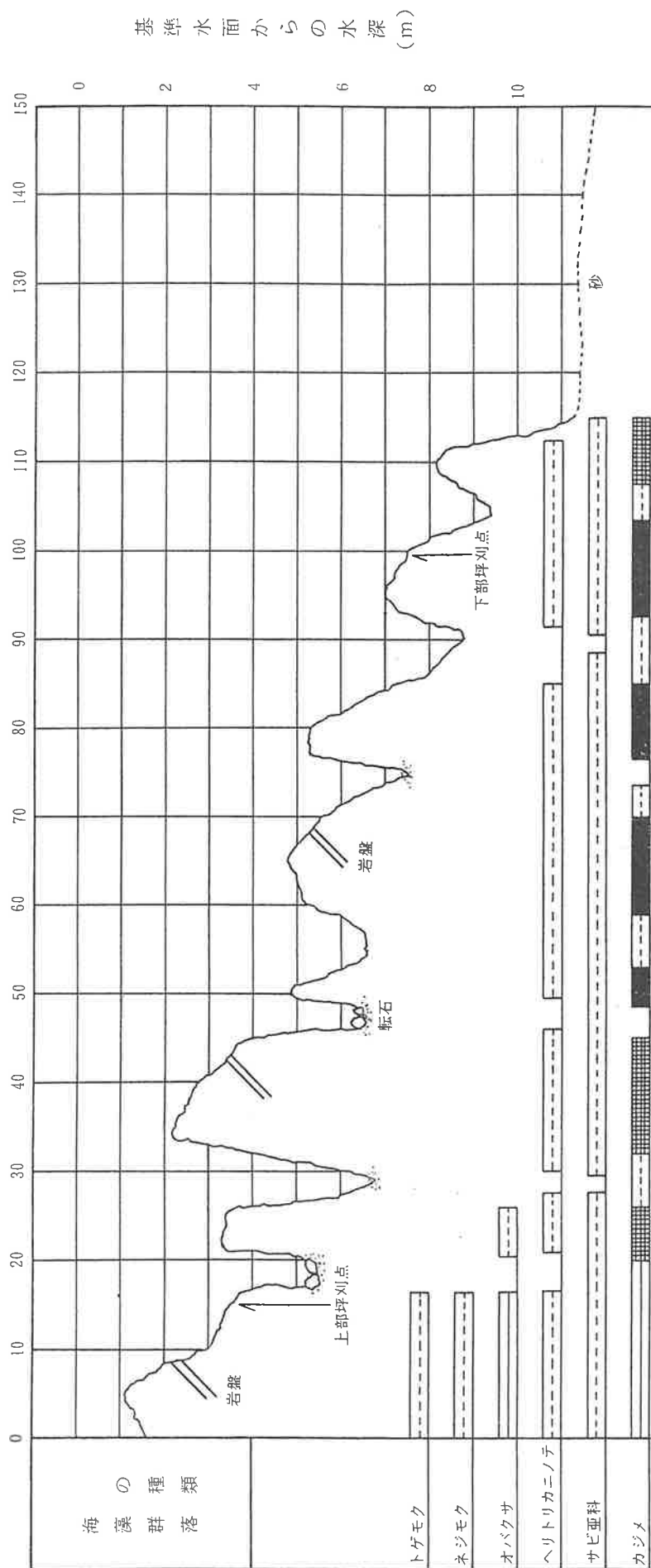
調査線番号 4



海藻群落垂直断面分布図

調査線番号 5

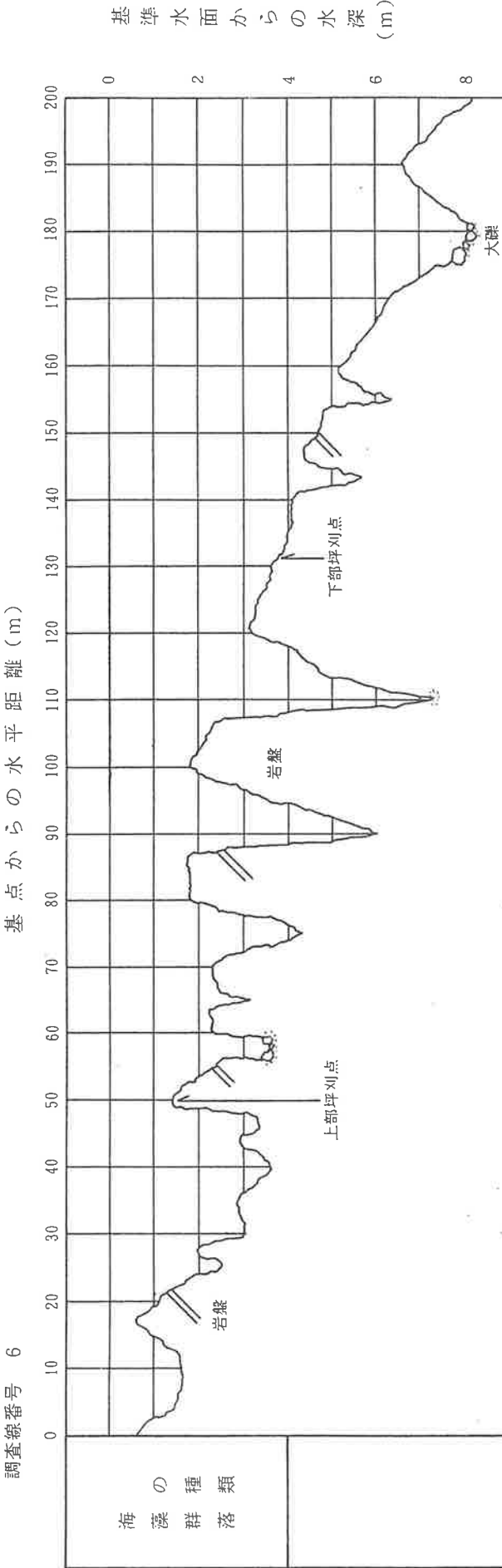
基点からの水平距離 (m)



備考

海藻群落垂直断面分布図

調査線番号 6

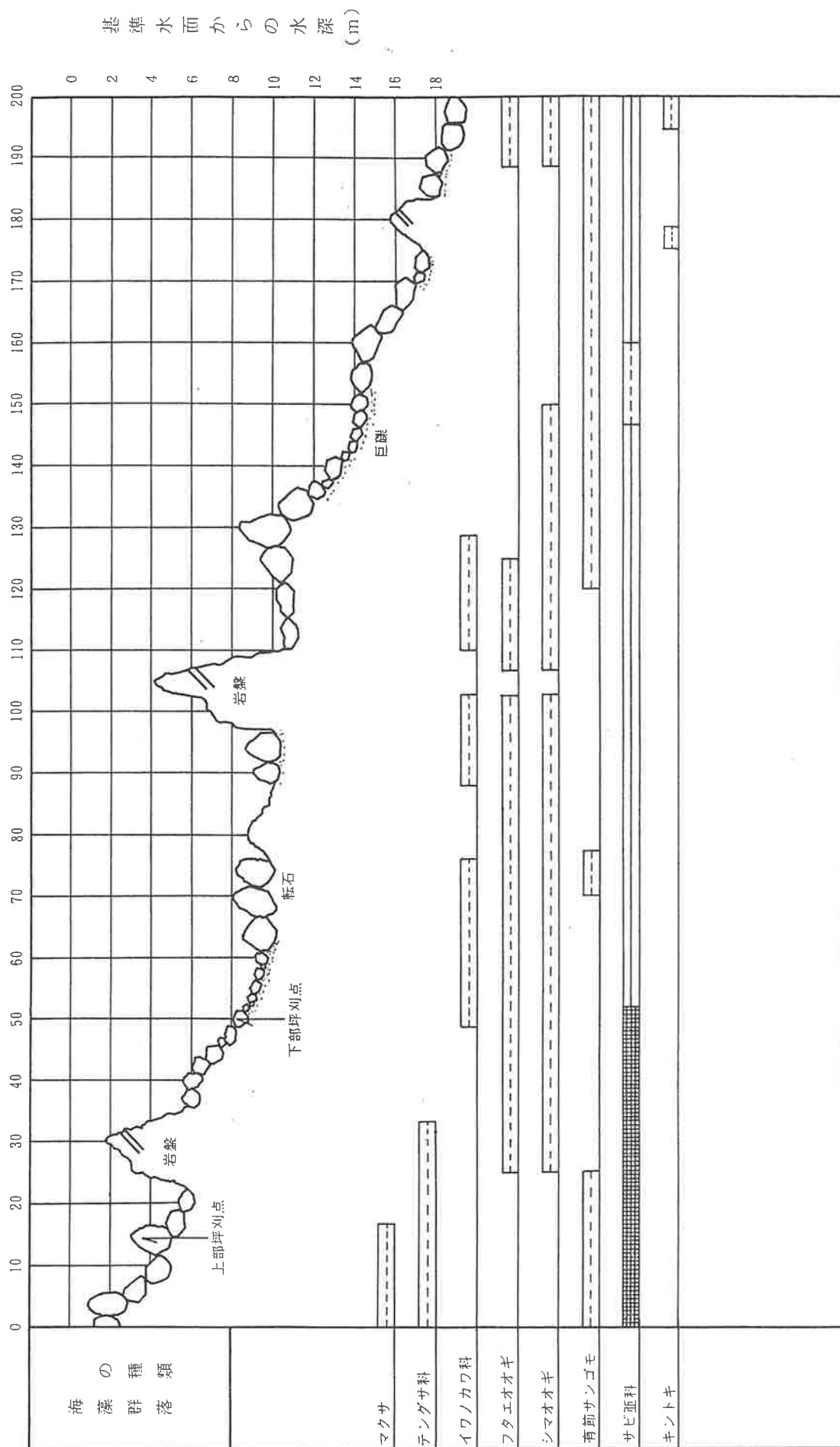


海藻群落の種類	
カジメ	
トゲモク	
ネジモク	
ヨレモクモドキ	
ヘリトリカニノテ	
サビ亜科	
イワノカワ科	
備考	

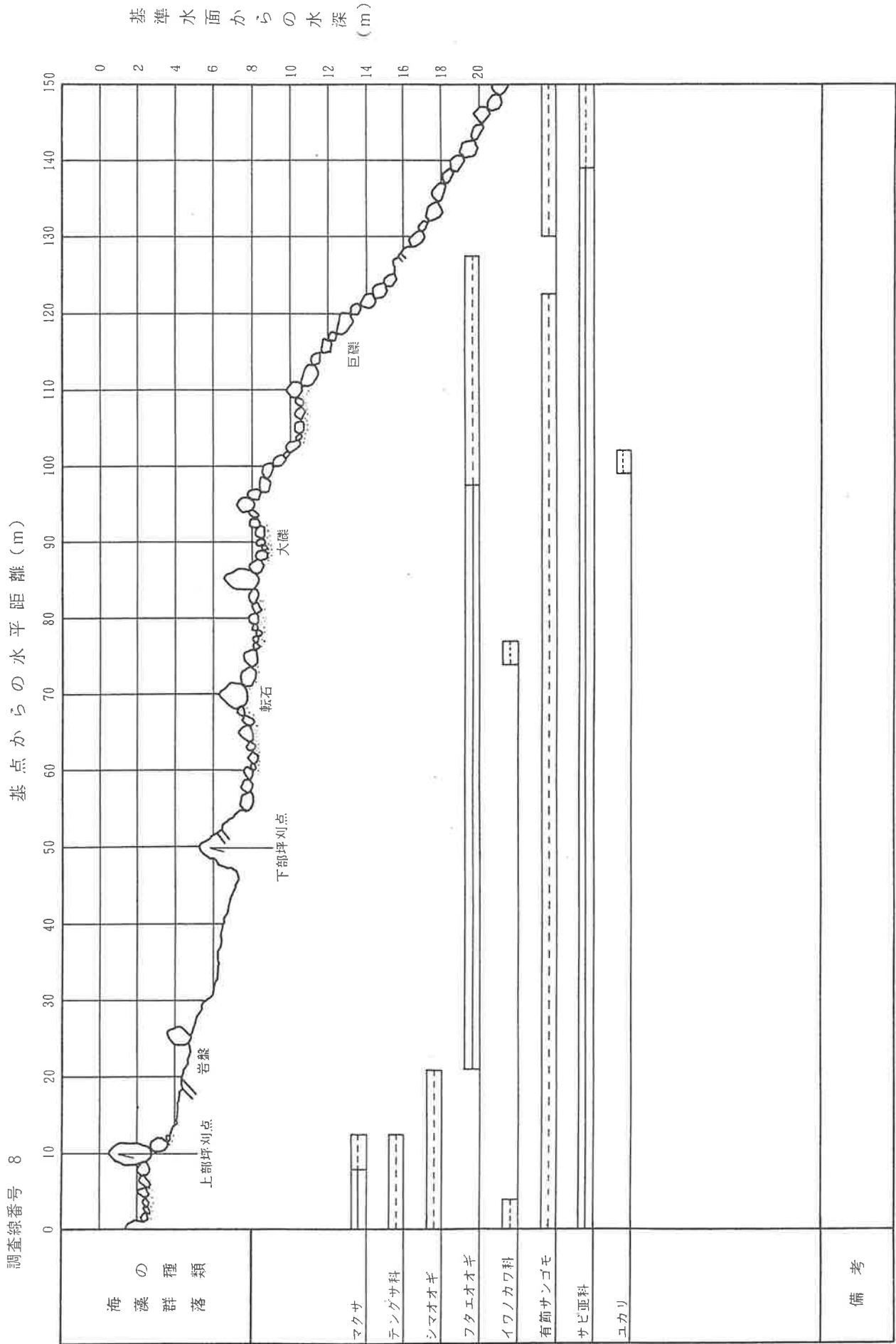
海藻群落垂直断面分布図

調査線番号 7

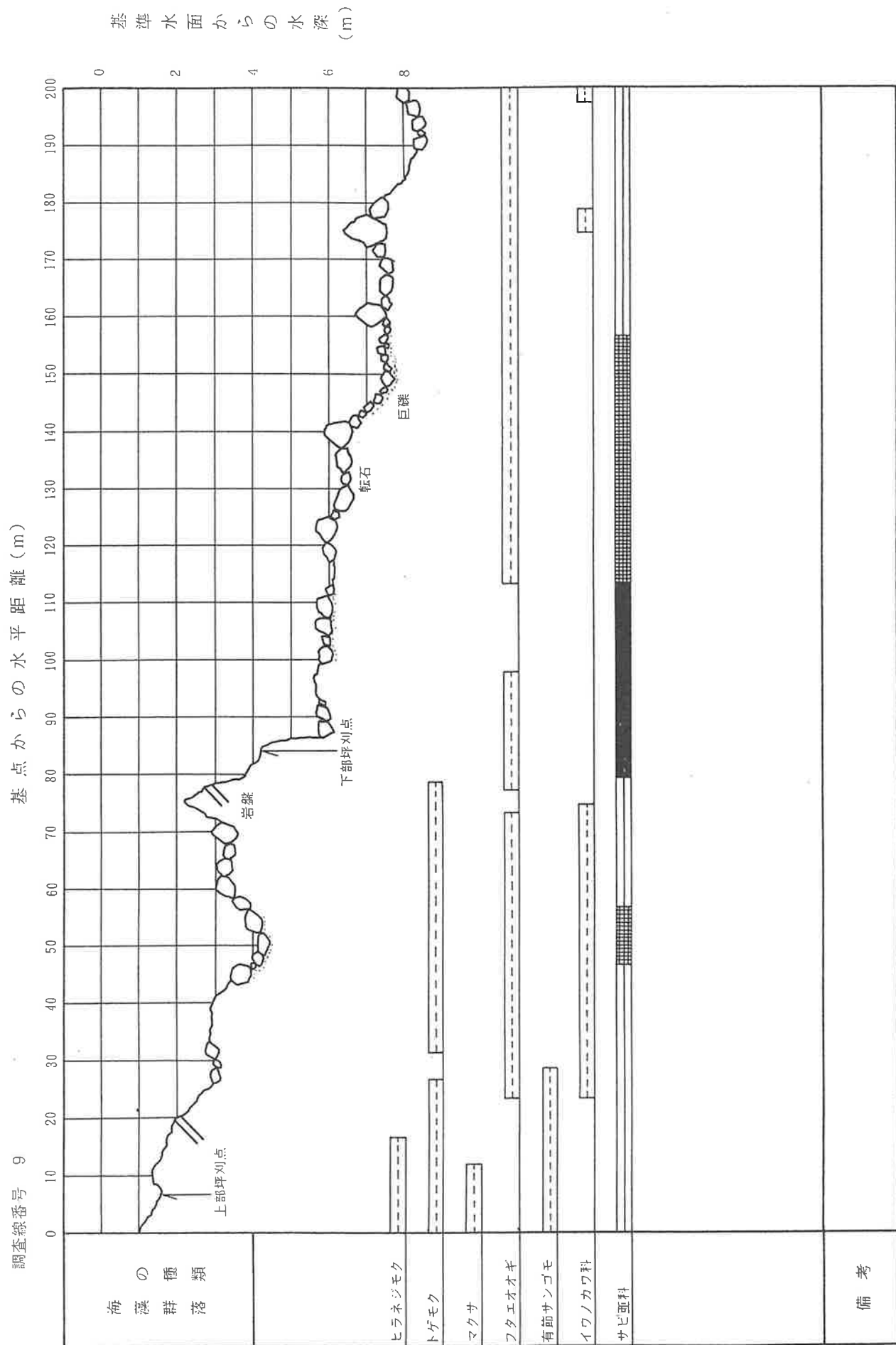
基点からの水平距離 (m)



海藻群落垂直断面分布図

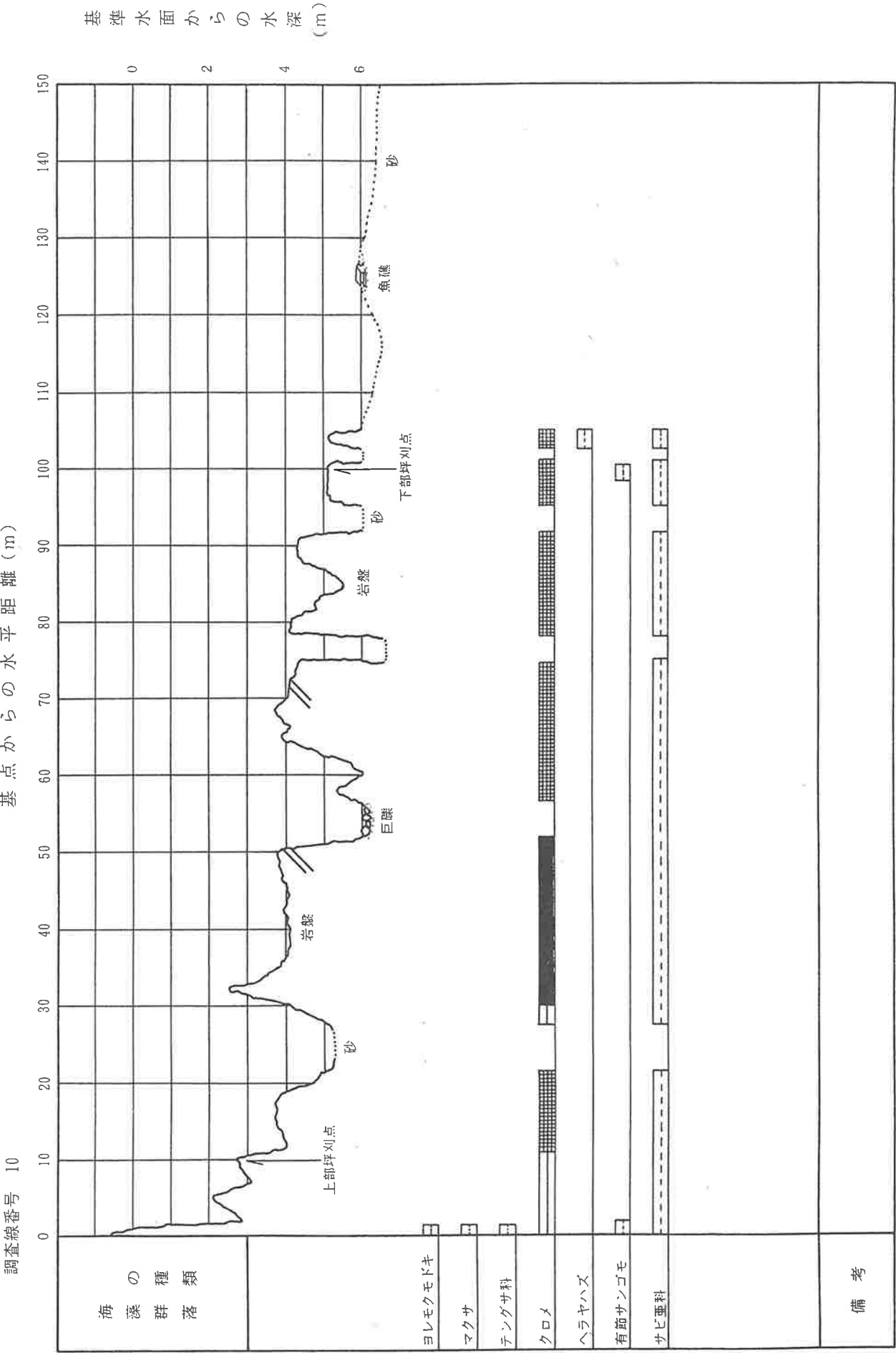


海藻群落垂直断面分布図



海藻群落垂直断面分布図

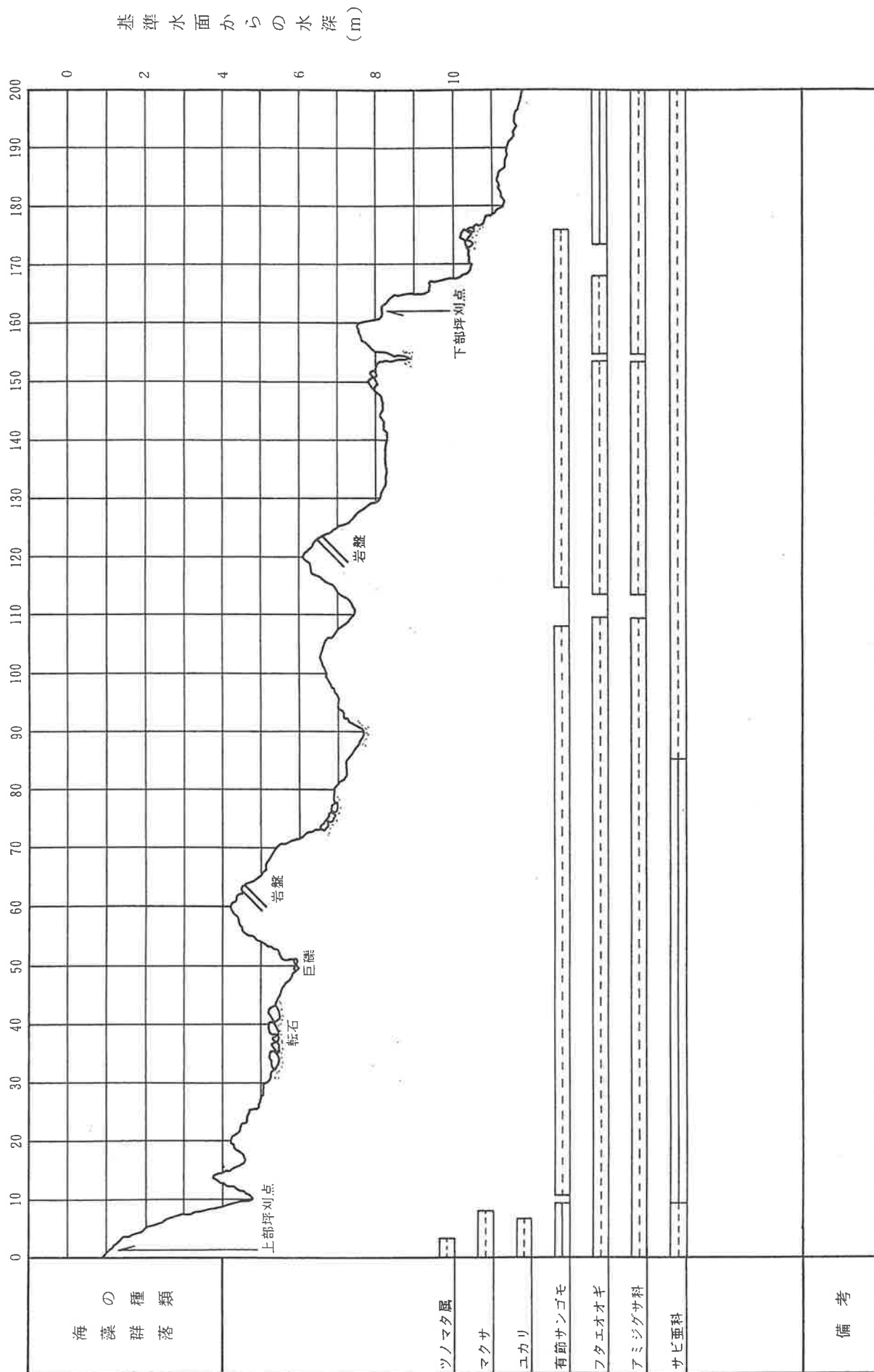
調査線番号 10



海藻群落垂直断面分布図

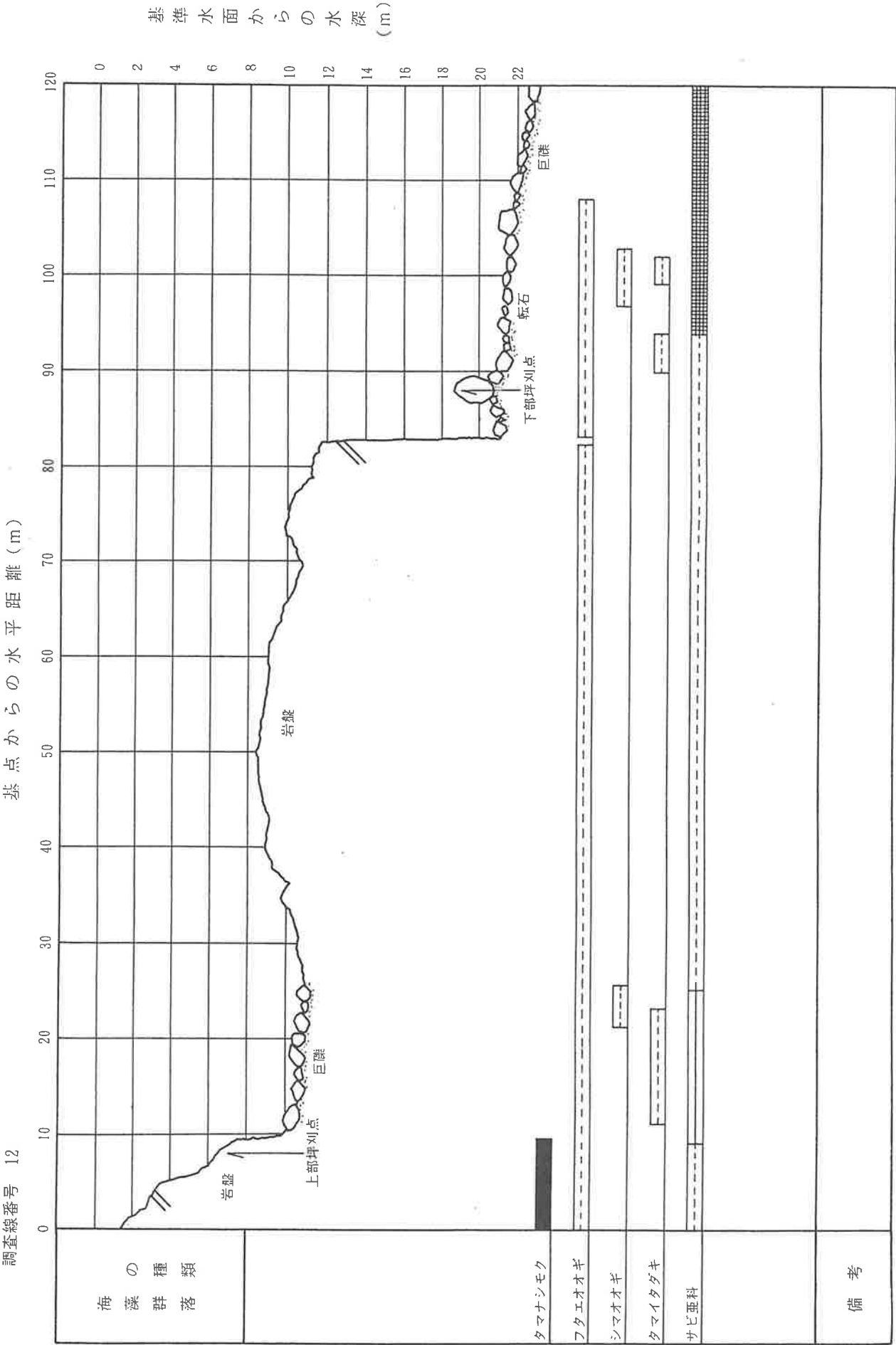
調査線番号 11

基点からの水平距離 (m)



海藻群落垂直断面分布図

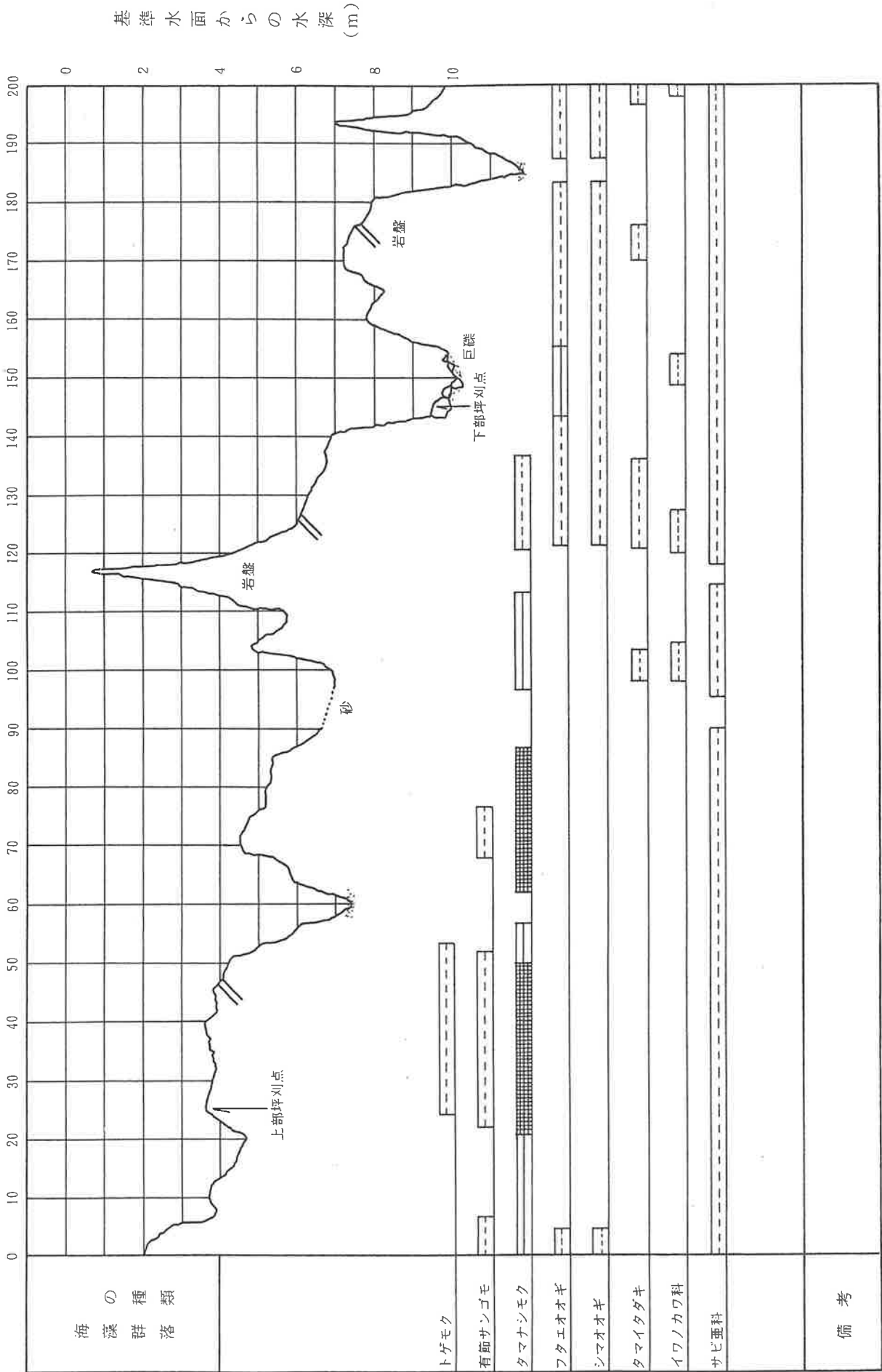
調査線番号 12



海藻群落垂直断面分布図

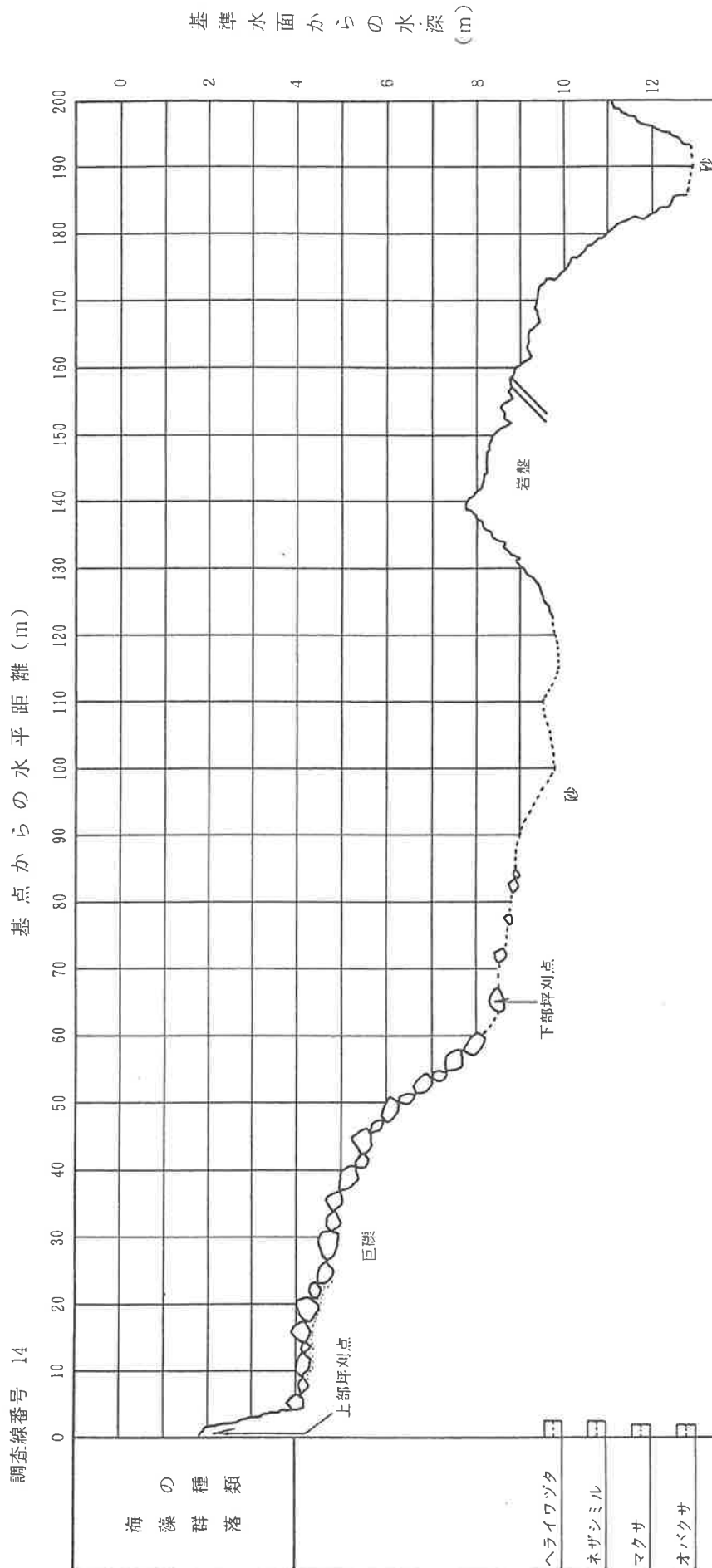
調査線番号 13

基点からの水平距離 (m)



海藻群落垂直断面分布図

調査線番号 14

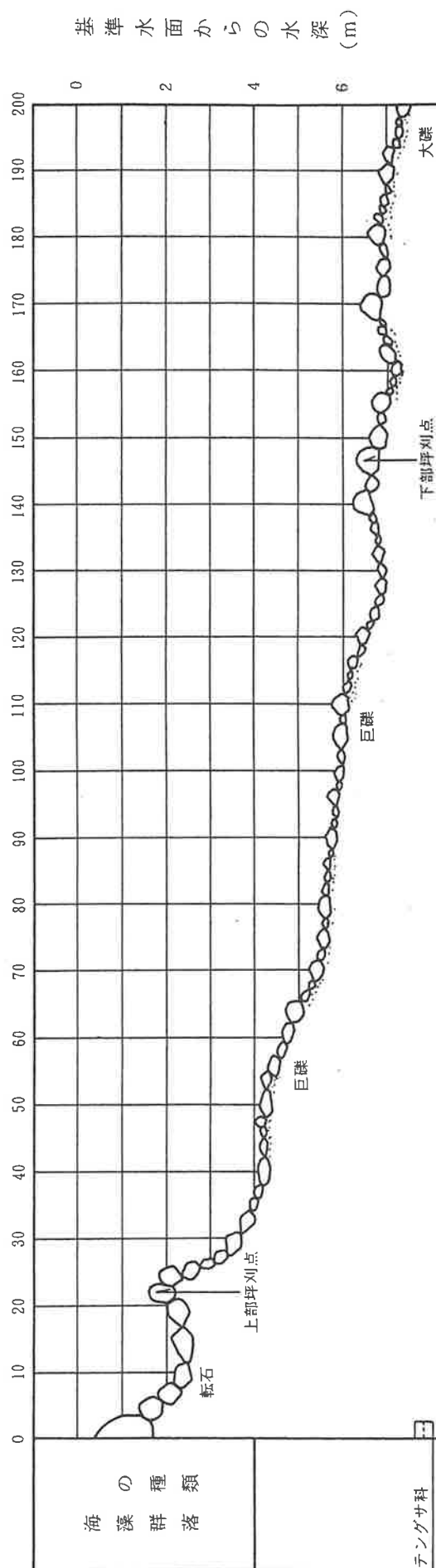


備考

海藻群落垂直断面分布図

調査線番号 15

基点からの水平距離 (m)



海藻群落の種類

テングサ科

フサイワヅタ

マユハキモ属

ハイミル

フタエオオギ

カギケノリ

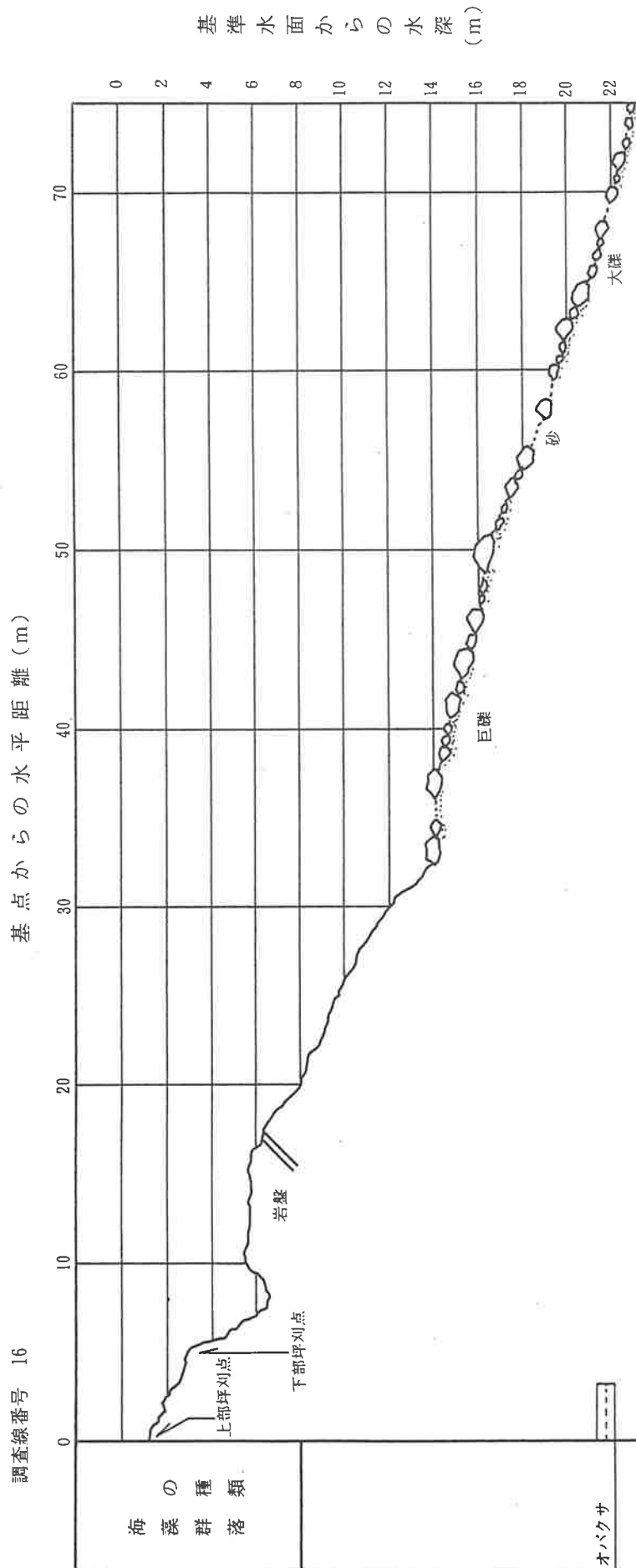
有節サンゴモ

サビ亜科

備考

海藻群落垂直断面分布図

調査線番号 16



海藻群落の種類

オバクサ

有節サンゴモ

タマミル

サビ亜科

備考

付表 1

平成10年度
高 知 県 沿 岸 藻 場 調 査
潜水目視調査結果

L-1 甲浦

H10.5.18

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	up 0.4	2.1	3.6	4.3	4.4	4.6	4.7	4.4	4.6
	底質	岩盤	巨礫	砂泥	砂泥	砂泥	砂泥	砂泥	砂泥・巨礫	砂泥・巨礫
海産種子植物	アマモ			80		60	80	+		
海産種子植物	ウミヒルモ			+		+	+	+		
緑藻類	ハネモ属	+								
褐藻類	フクロノリ	+	+	+					+	+
褐藻類	アトクメ		+						+	+
褐藻類	ヘラヤハズ								+	+
褐藻類	シワヤハズ	+								+
褐藻類	アミジグサ	5	+						+	+
褐藻類	ウミウチワ								+	+
褐藻類	アミジグサ科								+	+
褐藻類	ヒジキ	+								
褐藻類	トサカモク									+
褐藻類	マメタワラ	+	20						30	10
褐藻類	ウミトラノオ	+								
褐藻類	ヨレモクモドキ	20	20							
紅藻類	マクサ		+						+	5
紅藻類	オバクサ	+	+						+	+
紅藻類	テングサ科	10	+							
紅藻類	ピリヒバ	10	5						+	+
紅藻類	ヒメモサヅキ	20	10						+	+
紅藻類	サビ亜科	5	5						5	5
紅藻類	ツカサアミ		+							
紅藻類	イワノカワ科	5	+						+	+
紅藻類	イバラノリ科	5	+						+	+
	全体の被度	90	60	80	0	60	80	+	50	30

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-2 佐喜浜

H10.5.19

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	1.4	4.5	4.7	7.5	8.1	10.3	10.7	-	-
	底質	岩盤	転石	岩盤・転石	転石	転石・巨礫	砂泥	砂泥		
緑藻類	シオグサ属					+				
緑藻類	タカツキツタ			+						
緑藻類	ハイミル	+	+	+	5	5				
緑藻類	ネザシミル	+	+	+	+	5				
褐藻類	クロメ	+	+	+	+					
褐藻類	ヘラヤハズ	+	+	+	+	+				
褐藻類	シワヤハズ	+	+	+	+					
褐藻類	フタエオオギ	+	+	+						
褐藻類	シマオオギ	+	+	5	15					
褐藻類	アミジグサ科	+	+	+	+	+				
褐藻類	ヒラネジモク	30	10							
紅藻類	ガラガラ	+	+	+	+					
紅藻類	フサノリ	+	+							
紅藻類	マクサ	+	+	+	5	+				
紅藻類	オバクサ	+	+	+	+	+				
紅藻類	テングサ科	5	5	+	+	+				
紅藻類	カニノテ	5	5	5	+	+				
紅藻類	ウスカワカニノテ	5	+	5	+	+				
紅藻類	カニノテ属	10	15	20	5					
紅藻類	ピリヒバ	+	+	+	+	+				
紅藻類	サビ亜科	30	40	35	20	15				
紅藻類	マタボウ	+								
紅藻類	キントキ属	+	+	5	+	+				
紅藻類	ホソバノサカモドキ		+	5						
紅藻類	イワノカワ科	+	5	5	+	5				
紅藻類	ツノマタ属	5	+	+						
紅藻類	オキツノリ		+							
紅藻類	ユカリ	+	+	+	+	+				
紅藻類	ナミノハナ		+	+						
紅藻類	ワツナギソウ			+						
紅藻類	ソゾ属	+		+	+					
	全体の被度	100	80	90	50	30	0	0	-	-

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	2.0	4.0	5.0	6.5	7.0	7.5	10.0	9.9	12.3
	底質	岩盤	巨礫・大礫	転石・巨礫	巨礫・大礫	岩盤・転石	転石	巨礫・大礫	巨礫	巨礫・大礫
緑藻類	アオサ属	+								
緑藻類	シオグサ属									+
緑藻類	カサノリ属				+	+				
緑藻類	マユハキモ属							+	+	
緑藻類	ハイミル		+	+	+	+	+	+	+	+
緑藻類	ネザシミル		+	+	+	+	+	+	+	+
緑藻類	ミル									+
褐藻類	ヘラヤハズ	+								
褐藻類	フタエオオギ							+	+	+
褐藻類	シマオオギ	+		+	+	+	10	15	20	25
褐藻類	アミジグサ科		+	+	+	+	+	+	+	+
褐藻類	ヒラネジモク	+								
紅藻類	タマイタダキ					+	+	+	+	+
紅藻類	ソデガラミ								+	+
紅藻類	ガラガラ		+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	マクサ	60	60	40	40	40	30	30	15	20
紅藻類	オニクサ	+	+			+				
紅藻類	オパクサ	5	10	15	10	5	5	+	+	+
紅藻類	テングサ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	ヒラクサ									+
紅藻類	カニノテ								+	+
紅藻類	ウスカワカニノテ	+	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	ピリヒバ	+	+	+						
紅藻類	サビ亜科	10	10	15	15	15	15	10	10	10
紅藻類	ヘリトリカニノテ	10	+	+	+			+		
紅藻類	チャボキントキ						+	+	+	+
紅藻類	マタボウ	+	+	+						
紅藻類	キントキ				+	+	+	+	+	+
紅藻類	キントキ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	イワノカワ科		+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	ツノマタ属	+		+	+	+		+		
紅藻類	カイノリ	+	+							
紅藻類	オキツノリ	+	+							
紅藻類	ハリガネ		+		+	+	+	+		+
紅藻類	ユカリ				+	+	+	+	+	+
紅藻類	ホソバナミノハナ	+	+	+	+	+				
紅藻類	トサカノリ			+	+					
紅藻類	ワツナギソウ	+								
紅藻類	ソゾノハナ						+			+
紅藻類	ソゾ属									+
	全体の被度	90	85	75	70	60	65	65	50	60

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

平成10年度高知県沿岸域の藻場分布状況調査

L-4 羽根岬

H10.5.20

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	0.7	1.0	3.9	3.0	7.4	7.5	7.4	10.2	11.1
	底質	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤	転石	転石	岩盤・砂泥
緑藻類	ハネモ属				+	+	+			
緑藻類	フサイワズタ								+	
緑藻類	コケイワズタ			+	+	+				
緑藻類	ハイミル				+	+	+			
緑藻類	ネザシミル				+	+				
褐藻類	クロメ	40	30	+	+					
褐藻類	ヘラヤハズ				+	+	+	+		
褐藻類	シワヤハズ				+	+				
褐藻類	フタエオオギ		+	+	+	+	+	+		
褐藻類	シマオオギ				+	+	10	10	5	
褐藻類	アミジグサ科	+	+	5	+	+	+	+		
褐藻類	トゲモク	5	5	20	20	30	10			
褐藻類	ヒラネジモク	10	10	10	+					
褐藻類	ホンダワラ科	+	+							
紅藻類	ガラガラ	+	+	+	5	10	+	+		
紅藻類	マクサ	+	+	+	5	5	10	5	5	
紅藻類	オニクサ	+								
紅藻類	オバクサ	10								
紅藻類	テングサ科	+	+	+	+	+				
紅藻類	カニノテ	+	5	5	+	5	15	30	5	
紅藻類	ウスカワカニノテ	5	5	+	+	+				
紅藻類	サンゴモ	5	5	5	+					
紅藻類	ピリヒバ		+							
紅藻類	サビ亜科	10	20	15	30	20	20	20	5	+
紅藻類	ヘリトリカニノテ	+	5	10	10	10	+	5	+	
紅藻類	オオシコロ	+	5	10						
紅藻類	チャボキントキ							+		
紅藻類	ヒラキントキ					+				
紅藻類	キントキ属	+	+			+	+	+	+	+
紅藻類	イワノカワ科	5	5	+	+	+	5	5	+	
紅藻類	ツノマタ属	1								
紅藻類	ユカリ					+	+	+	+	
	全体の被度	100	100	80	70	80	70	80	20	+

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-5

八流

H10.5.21

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	1.6	6.2	5.9	7.5	7.5	11.4	11.7	—	—
	底質	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤	砂泥	砂泥		
緑藻類	シオグサ属					+				
褐藻類	カジメ	30	70	80	70	80				
褐藻類	クロメ	+	+		+					
褐藻類	ヘラヤハズ	+	+		+	+				
褐藻類	シワヤハズ	+	+		+					
褐藻類	ウミウチワ	+	+							
褐藻類	シマオオギ	+	+	+	+	+				
褐藻類	トゲモク	5	+							
褐藻類	ネジモク	5								
紅藻類	ガラガラ	+	+	+	+	+				
紅藻類	オバクサ	20	5		+	+				
紅藻類	テングサ科	5	+	+	+	+				
紅藻類	カニノテ		+	+	+	5				
紅藻類	ウスカワカニノテ	5	+	+	+	+				
紅藻類	カニノテ属	5	+	+	+	+				
紅藻類	ヒメモサヅキ	5	+							
紅藻類	サビ亜科	10	10	10	20	5				
紅藻類	ヘリトリカニノテ	5	10	10	5	5				
紅藻類	キントキ属	+	+	+	+	+				
紅藻類	イワノカワ科		+	+	+	+				
紅藻類	サイミ	+								
紅藻類	ツノマタ属	+	+	+						
紅藻類	ユカリ		+	+	+	+				
	全体の被度	100	100	100	100	100	0	0		

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-6 手結

H10.5.21

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	0.6	2.5	1.4	4.3	1.8	3.3	4.4	7.6	8.2
	底質	岩盤	岩盤・大礫	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤・巨礫	岩盤・巨礫
緑藻類	シオグサ属			+						
緑藻類	フサイワズタ				+					
緑藻類	コケイワズタ			+	+	+				
緑藻類	ネザシミル			+						
褐藻類	カジメ			20	20	+	40	70	50	70
褐藻類	ヘラヤハズ			+	+	+	+	+	+	+
褐藻類	シマオオギ			+	+	+	+	+	+	+
褐藻類	トゲモク			+	+	+	5	+	+	+
褐藻類	マメタワラ				+					
褐藻類	ネジモク					+	5			
褐藻類	ヨレモクモドキ			+	+	+	5	5	5	+
褐藻類	ホンダワラ科			+		+	+	+		
紅藻類	マクサ			+				+	+	+
紅藻類	オニクサ			+	+		+			
紅藻類	オバクサ			+	+		+	+	+	+
紅藻類	テングサ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	カニノテ								+	+
紅藻類	ヒメモサヅキ	+	+	+	+	+	+	+		
紅藻類	サビ亜科	80	70	40	60	80	10	5	20	10
紅藻類	ヘリトリカニノテ			10		+	10	10	5	10
紅藻類	キントキ属				+	+	+	+	+	+
紅藻類	イワノカワ科			+	+	+	+	+	5	5
紅藻類	ユカリ			+	+	+	+	+	+	+
	全体の被度	80	70	70	80	80	80	100	90	100

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-7 上ノ加江

H10.5.22

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	1.2	4.1	7.9	8.2	6.9	9.4	13.8	16.6	18.6
	底質	巨礫	岩盤	転石	転石	転石	転石	転石	転石・大礫	転石・巨礫
緑藻類	ウキオリソウ科			+	+					
緑藻類	シオグサ属			+	+			+	+	+
緑藻類	フサイワツタ	+			+	+				
緑藻類	ネザシミル	+	+	+	+	+	+			
褐藻類	アミジグサ		+		5	5	+	+	+	
褐藻類	フタエオオギ		5	5	10	10	5	+	+	5
褐藻類	シマオオギ		5	5	10	5	5	5	+	5
褐藻類	アミジグサ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	カギケノリ			+	+					
褐藻類	ガラガラ			+	+	+	+	+		
褐藻類	マクサ	5	+							
褐藻類	オバクサ	+	+		+					
褐藻類	テングサ科	10	5	+	+	+	+	+	+	+
褐藻類	カニノテ	+	5	+	+	+	10	15	10	5
紅藻類	ウスカワカニノテ	5	+	+	5	+	+	+	+	+
紅藻類	ビリヒバ	+		+		+		+	+	
紅藻類	ヒメモサヅキ	5	5	+	+	+	+			
紅藻類	サビ亜科	60	60	70	30	30	30	20	40	30
紅藻類	ヘリトリカニノテ	5	10	+	+			+	+	+
紅藻類	チャボキントキ			+	+			+	+	+
紅藻類	キントキ			+	+	+	+	+	5	5
紅藻類	キントキ属	+	+	+	+		+	+	+	+
紅藻類	イワノカワ科		+	5	5	5	5	+	+	+
紅藻類	ツノマタ属	+				+				
紅藻類	スギノリ		+		+	+				
紅藻類	ユカリ	+	+	+	+	+	+		+	
紅藻類	ホソバナミノハナ		+	+	+					
紅藻類	ソゾ属	5				+				
	全体の被度	100	100	90	70	60	60	50	50	50

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-8

志和

H10.5.22

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	1.4	3.7	6.2	7.5	8.5	15.1	20.6	-	-
	底質	転石	転石	岩盤	岩盤・巨礫	転石・大礫	転石大礫	転石・大礫		
緑藻類	カタシオグサ					+	+	+		
緑藻類	ハネモ属	+	+		+					
緑藻類	フサイワツタ	+	+							
緑藻類	コケイワツタ	+	+							
緑藻類	ハイミル	+	+							
緑藻類	ネザシミル	+	+	+	+	+				
褐藻類	ヘラヤハズ	+	+	+	+	+				
褐藻類	フタエオオギ	+	30	30	25	20	15	+		
褐藻類	シマオオギ	5	+	+	+	+	+			
褐藻類	アミジグサ科	+	+	+	+	+	+	+		
紅藻類	カギケノリ	+	+	+	+	+				
紅藻類	タマイタダキ				+					
紅藻類	ガラガラ	+	+	+	+	+	+	+		
紅藻類	マクサ	30	+	+	+					
紅藻類	オバクサ				+	+				
紅藻類	テングサ科	5	+	+	+	+	+			
紅藻類	カニノテ	+	+	+	+	+	+	5		
紅藻類	ウスカワカニノテ	+	5	+	+	+				
紅藻類	ビリヒバ	+	+	+	+	+				
紅藻類	ヒメモサヅキ	+	+							
紅藻類	サビ亜科	30	30	30	25	30	30	10		
紅藻類	チャボキントキ				+	+	+			
紅藻類	キントキ					+		+		
紅藻類	キントキ属	+	+	+	+		+			
紅藻類	ツカサアミ				+	+				
紅藻類	イワノカワ科	5	+	+	5	+	+			
紅藻類	ツノマタ属	+	+							
紅藻類	ハリガネ	+	+							
紅藻類	ユカリ	+	+	+	+	5		+		
紅藻類	ホソバナミノハナ			+	+	+	+	+		
紅藻類	トサカノリ					+	+			
紅藻類	ベニヤナギノリ							+		
紅藻類	ソゾノハナ				+	+	+			
紅藻類	ミツデソゾ	+	+	+	+	+				
紅藻類	ソゾ属	+	+	+		+	+			
	全体の被度	80	70	65	60	60	50	20		

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-9

井ノ岬

H10.6.2

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	1.0	2.9	4.1	2.2	5.8	5.7	7.5	6.4	7.8
	底質	岩盤・転石	岩盤・巨礫	岩盤・転石	岩盤・転石	岩盤・巨礫	岩盤・転石	岩盤・転石	岩盤・転石	転石
緑藻類	キッコウグサ	+								
緑藻類	フサイワツタ	+								
褐藻類	ヘラヤハズ	+	+	+	+		+			
褐藻類	フタエオオギ		10	10	10	+	10	5	10	5
褐藻類	シマオオギ		+	+	+	+	+	+	+	+
褐藻類	アミジグサ科		5	5	10	+	5	5	10	5
褐藻類	トゲモク	5	10	5	10		+			
褐藻類	ヒラネジモク	20								
褐藻類	ホンダワラ科	+	+		+					
紅藻類	ガラガラ		+	+	+					+
紅藻類	マクサ	10	+				+			
紅藻類	オニクサ	+								
紅藻類	オバクサ	+					+	+	+	
紅藻類	テングサ科	5	+	+	+	+	+	+	+	
紅藻類	ウスカワカニノテ		+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	ビリヒバ		+	+	+					+
紅藻類	ヒメモサヅキ	5	+	+	+		+	+		+
紅藻類	サビ亜科	30	50	65	30	80	60	70	40	50
紅藻類	ヘリトリカニノテ	+	5	+	+		+	+	+	
紅藻類	キントキ属	+	+	+	+					+
紅藻類	イワノカワ科		5	5	10	+	+	+	5	5
紅藻類	ツノマタ属	+								
紅藻類	カイノリ	+	+	+	+		+			
紅藻類	イバラノリ	+	+							
紅藻類	カギイバラノリ	+								
紅藻類	ユカリ	5	+	+	+		+			
紅藻類	ホソバナミノハナ	+	+		+	+				
紅藻類	カタメンキリンサイ	+								
紅藻類	ランゲリア		+	+	+					
紅藻類	イギス科									+
紅藻類	アヤニシキ									+
紅藻類	ソゾ属	+	+		+	+	+	+	+	
	全体の被度	90	90	90	75	80	75	80	65	65

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-10 田野浦

H10.6.18

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	up 0.6	5.3	3.8	4.1	5.1	-	-	-	-
	底質	岩盤	岩盤・砂	岩盤	岩盤	岩盤				
緑藻類	シオグサ属					+				
褐藻類	カジメ	+	+	+	+	+				
緑藻類	クロメ	50	60	80	60	70				
緑藻類	ヘラヤハズ	+	+	+	+	5				
緑藻類	フタエオオギ	+	+	+	+	+				
緑藻類	ウミウチワ属		+	+	+	+				
褐藻類	シマオオギ				+	+				
褐藻類	アミジグサ科		+	+	+	+				
褐藻類	ノコギリモク	+	+	+	+	+				
褐藻類	トゲモク		+	+		+				
褐藻類	ヒラネジモク	+		+						
褐藻類	ヤツマタモク	+								
褐藻類	マメタワラ	+	+	+	+	+				
褐藻類	ヨレモクモドキ	5	+	+	+	+				
褐藻類	ホンダワラ科	+	+	+	+	+				
紅藻類	マクサ	5	+	+	+	+				
紅藻類	オニクサ	5	+	+	+	+				
紅藻類	オバクサ	+	+	+	+	+				
紅藻類	テングサ科	+	+	+	+	+				
紅藻類	ピリヒバ	+	+	+	+	+				
紅藻類	サビ亜科	5	15	15	20	10				
紅藻類	ヘリトリカニノテ	15	+	+	+	5				
紅藻類	オオシコロ			+	+	+				
紅藻類	マタボウ		+	+	+	+				
紅藻類	キントキ属	+	+	+	+	+				
紅藻類	ホソバトサカモドキ	+	+	+	+	+				
紅藻類	イワノカワ科	5	+	+	5	5				
紅藻類	ツノマタ属	5		+	+	+				
紅藻類	カイノリ	+	+	+		+				
紅藻類	ユカリ	+	+	+	+	+				
紅藻類	ホソバナミノハナ	+	+	+	+	+				
	全体の被度	95	80	100	90	100				

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	0.9	4.7	5.9	6.7	6.7	7.0	7.8	10.2	11.8
	底質	岩盤	岩盤	岩盤・巨礫	岩盤・巨礫	岩盤	岩盤	岩盤・転石	岩盤・転石	岩盤・砂
緑藻類	ウキオリソウ属				+					
緑藻類	カタシオグサ					+	+	+	+	+
緑藻類	シオグサ属				+					
緑藻類	キッコウグサ					+	+			
緑藻類	フサイワツタ	+								
緑藻類	コケイワツタ		+	+		+	+			
緑藻類	ハイミル	+	+	+	+			+	+	+
緑藻類	ネザシミル									
緑藻類	タマミル					+	+	+	+	+
褐藻類	ヘラヤハズ	+	+	+	+					
褐藻類	シワヤハズ		+	+	+	+	5	+	+	+
褐藻類	フタエオオギ	5	5	5	15	20	20	20	30	30
褐藻類	シマオオギ				+			+	+	+
褐藻類	アミジグサ科	5	5	5	10	15	15	10	5	5
褐藻類	ホンダワラ科								+	
紅藻類	タマイタダキ	+	+	+	+	+	+	+	5	+
紅藻類	ソデガラミ								+	+
紅藻類	ヒラガラガラ			+						
紅藻類	ガラガラ		+	+	+			+		+
紅藻類	マクサ	5	+	+	+					
紅藻類	オニクサ	+								
紅藻類	オバクサ	+	+	+	+					
紅藻類	テングサ科			+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	カニノテ	5	5	5	5	5	10	+	5	+
紅藻類	ウスカワカニノテ	5	5	+	5	5	10	5	+	+
紅藻類	ピリヒバ					+	+	+		
紅藻類	サビ亜科	15	30	30	30	20	20	20	10	10
紅藻類	ヘリトリカニノテ	20	5	+	+					
紅藻類	マタボウ	+								
紅藻類	キントキ			+	+				+	+
紅藻類	トサカモドキ属	+								
紅藻類	イワノカワ科	+	+	+	+					
紅藻類	ツノマタ属	5								
紅藻類	カイノリ	+	+	+	+					
紅藻類	イバラノリ	+								
紅藻類	カギイバラノリ	+								
紅藻類	ユカリ	5	+	+	+			+	+	+
紅藻類	ホソバナミノハナ	+	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	アヤニシキ							+	+	+
紅藻類	ハナヤナギ					+	+			
紅藻類	ベニヤナギノリ								+	
紅藻類	ミツデソゾ						+	+	+	+
紅藻類	ソゾ属	+	+	+	+	+	+	+	+	
	全体の被度	75	60	50	70	65	80	60	60	50

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-12

松尾

H10.5.18

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	1.4	12.6	8.4	10.0	21.2	-	-	-	-
	底質	岩盤	岩盤・巨礫	岩盤	岩盤	転石・巨礫				
緑藻類	ハイミル	+	+	+	+					
緑藻類	ネザシミル	+		+	+					
緑藻類	ミル	+		+	+					
緑藻類	タマミル	+	+	+	+					
褐藻類	シワヤハズ			+	+					
褐藻類	フタエオオギ	5	20	20	20	10				
褐藻類	シマオオギ		5	+	+	+				
褐藻類	アミジグサ科	+	5	5	5	+				
褐藻類	タマナシモク	80								
紅藻類	タマイタダキ		10	+	+	5				
紅藻類	ガラガラ		10	+	+	5				
紅藻類	マクサ	+		+	+					
紅藻類	オバクサ	+		+	+					
紅藻類	テングサ科		+	+	+	+				
紅藻類	カニノテ	+	+	+	+	5				
紅藻類	ウスカワカニノテ	+		+	+					
紅藻類	サビ垂科	5	30	20	20	10				
紅藻類	ヘリトリカニノテ	+		+	+					
紅藻類	チャボキントキ			+	+	+				
紅藻類	マタボウ	5								
紅藻類	キントキ		+	+	+	5				
紅藻類	トサカモドキ属			+						
紅藻類	イワノカワ科	+	+	+	+	+				
紅藻類	イバラノリ			+	+					
紅藻類	ユカリ			+	+					
紅藻類	ホソバナミノハナ	+	+	+	+					
紅藻類	ナミノハナ	+	+							
紅藻類	カタメンキリンサイ			+						
紅藻類	トサカノリ	+	+	+	+					
紅藻類	アヤニシキ			+	+	+				
紅藻類	ソゾ属			+	+					
	全体の被度	100	80	55	50	85				

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-13 小才角

H10.6.5

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	2.0	3.6	4.2	4.8	6.9	6.0	10.1	7.4	9.8
	底質	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤	岩盤	転石・巨礫	岩盤	転石・巨礫
緑藻類	ハネモ属		+							
緑藻類	ヘライワツタ	+	+			+	+	+		
緑藻類	フサイワツタ	+	+			+		+		
緑藻類	コケイワツタ	+	+	+		+	+	+	+	
緑藻類	マユハキモ属	+	+	+						
緑藻類	ハイミル	+	+	+	+	+		+	+	
緑藻類	ネザシミル	+	+		+			+	+	+
緑藻類	ミル	+	+		+				+	
緑藻類	タマミル							+		
緑藻類	コブシミル	+	+	+		+				
褐藻類	シワヤハズ	+	+	+		+	+	+	+	+
褐藻類	フタエオオギ	5	+	+	+	+	15	30	20	20
褐藻類	シマオオギ	5	+	+	+	+	5	10	5	10
褐藻類	アミジグサ科	5	+	+	+	5	5	5	5	+
褐藻類	イソモク	+								
褐藻類	トゲモク	+	5	5	+	+		+		
褐藻類	タマナシモク	50	60	40	60	40	20			
褐藻類	ホンダワラ科		+	+						
紅藻類	タマイタダキ	+	+	+	+	5	5	5	5	5
紅藻類	ガラガラ				+	+		+		+
紅藻類	マクサ	+	+	+	+	+				
紅藻類	オニクサ	+								
紅藻類	オバクサ	+	+	+	+	+		+	+	+
紅藻類	テングサ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	カニノテ	5	5	+	+	+	+			+
紅藻類	ウスカワカニノテ	5	+	5	5	+	+	+	+	+
紅藻類	ピリヒバ	+	+	+	+	+	+			
紅藻類	サビ亜科	5	5	5	5	5	5	5	5	5
紅藻類	ヘリトリカニノテ	+	+	5	+	+				
紅藻類	チャボキントキ							+	+	+
紅藻類	キントキ							+		+
紅藻類	イワノカワ科		+	+	+	5	5	5	+	5
紅藻類	ホソバナミノハナ			+	+	+	+	+		+
紅藻類	ワツナギソウ									+
紅藻類	ランゲリア						+			
紅藻類	アヤニシキ							+		
紅藻類	ソゾ属	+	+	+		+	+			+
	全体の被度	90	80	60	75	65	60	65	40	45

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-14 西泊

H10.6.5

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	1.8	4.5	6.0	8.7	9.8	9.9	8.4	10.1	11.1
	底質	岩盤	巨礫	巨礫	巨礫・砂	岩盤・砂	岩盤・砂	岩盤	岩盤	岩盤
緑藻類	キッコウグサ	+								
緑藻類	ヘライワツタ	5				+				
緑藻類	コケイワツタ	+	+							
緑藻類	ネザシミル	5	+							
緑藻類	コブシミル							+	+	+
褐藻類	フタエオオギ	+	+							
褐藻類	アミジグサ科	5	5	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	ソデガラミ	+	+	+						
紅藻類	ガラガラ			+		+	+	+		
紅藻類	コナハダ属		+	+			+	+	+	+
紅藻類	マクサ	5								
紅藻類	オバクサ	5								
紅藻類	テングサ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	カニノテ	+	+							
紅藻類	ウスカワカニノテ	5	+	+	+	+		+	+	+
紅藻類	ピリヒバ						+	+		+
紅藻類	ヒメモサツキ	+	10	15	+	+				
紅藻類	サビ亜科	40	40	30	+	+	20	30	20	25
紅藻類	サンゴモ科				+					
紅藻類	ヒビロウド					+	+	+	+	+
紅藻類	チャボキントキ				+	+	+			
紅藻類	キントキ属			+			+		+	+
紅藻類	トサカモドキ属	+								
紅藻類	カイメンソウ	+	5	5			+	+	+	+
紅藻類	ミゾオゴノリ	+								
紅藻類	イバラノリ	+								
紅藻類	カタメンキリンサイ				+	+	+			
紅藻類	アヤニシキ	+	+	+				+		
紅藻類	ソゾ属	+	5	5						
	全体の被度	75	70	55	+	+	20	30	20	25

海藻:単位:被度(%) + は2.5%未満を示す

L-15 沖の島

H10.6.6

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	0.4	2.8	4.1	5.4	5.8	6.7	6.6	6.8	7.2
	底質	転石・巨礫	転石・巨礫	転石・巨礫	巨礫・大礫	巨礫・大礫	巨礫・大礫	巨礫・大礫	巨礫・大礫	大礫
緑藻類	アオサ属		+	+	+	+	+	+		
緑藻類	フサイワツタ	15	+	+	+	+	+			
緑藻類	コケイワツタ		+	+	+	+				
緑藻類	マユハキモ属	5	+							
緑藻類	ハイミル			+	+	+	+	5	5	+
緑藻類	ネザシミル		+		+	+	+			
緑藻類	タミル		+	+	+	+	+	+	+	+
褐藻類	シワヤハズ		+			+	+	+		
褐藻類	フタエオオギ	5	10	5	5	5	5	5	5	10
褐藻類	ウミウチワ属				+	+	+	+	+	+
褐藻類	アミジグサ科	10	+	+	+	+	+	+	5	5
紅藻類	カギケノリ			+	+	+	+	5	5	5
紅藻類	ガラガラ		+			+	+	+	+	+
紅藻類	ヒラフサノリ					+	+			
紅藻類	コナハダ属		5	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	マクサ	+								
紅藻類	オバクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	テングサ科	5	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	ウスカワカニノテ	15	+	+	+	+	+	+	+	5
紅藻類	ヒメモサツキ	10	+	+	+	+	5	5	5	10
紅藻類	サビ亜科	10	10	15	15	20	20	20	20	25
紅藻類	ヒビロウド					+	+			
紅藻類	キントキ属			+						
紅藻類	トサカモドキ属				+					
紅藻類	カイメンソウ		+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	イワノカワ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+
紅藻類	ユカリ	+								
紅藻類	トサカノリ				+	+				
紅藻類	ソゾ属	+				+	+	+	+	+
	全体の被度	75	30	25	25	30	35	45	45	60

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す

L-16 宿毛(大藤島付近)

H10.6.3

	基点からの距離	0	25	50	75	100	125	150	175	200
	水深	1.2	9.7	15.8	22.4	-	-	-	-	-
	底質	岩盤	岩盤	岩盤・巨礫	大礫・砂					
緑藻類	ヤブレグサ			+						
緑藻類	アナアオサ	+								
緑藻類	フサイワツタ	+								
緑藻類	タマミル		+	5	+					
褐藻類	アミジグサ科	+	+	+						
紅藻類	カギケノリ	+								
紅藻類	ガラガラ			+						
紅藻類	マクサ	+								
紅藻類	オバクサ	5								
紅藻類	テングサ科	5	+	+						
紅藻類	ウスカワカニノテ	20	+							
紅藻類	ピリヒバ	10								
紅藻類	ヒメモサヅキ	15								
紅藻類	サビ亜科	10	60	50	15					
紅藻類	イワノカワ科		+	+						
紅藻類	ツノマタ属	+								
紅藻類	ミゾオゴノリ	+								
紅藻類	イバラノリ	+								
紅藻類	イバラノリ属	+								
紅藻類	トサカノリ	+	+							
紅藻類	アヤニシキ	+								
紅藻類	ソゾ属	+								
	全体の被度	70	60	55	15					

海藻:単位;被度(%) + は2.5%未満を示す